

令和5年度
(2023年度)

予算概要説明書 (記者会見用)

2023年2月
町田市

***** 目 次 *****

I 2023年度予算の概要

1 令和5年度（2023年度）予算のポイント

（1）予算編成方針	8
（2）2023年度予算フレームの概要	9

2 歳入歳出予算の状況

（1）予算規模

・一般会計予算規模	12
・特別会計予算規模	12
・会計別予算構成	12
・会計別予算構成表	13
・一般会計予算規模 伸び率	13

（2）歳入予算

・主な歳入予算	14
・一般会計歳入予算内訳表	14
・市税の状況	15
・（参考）市税の推移	15

（3）歳出予算

・主な歳出予算	16
・一般会計歳出予算目的別内訳表	16
・一般会計歳出予算性質別内訳表	17
・性質別予算のトピックス	17

（4）積立金（基金）・市債

・積立金（基金）の状況	18
・基金の年度末現在高の推移	18
・市債の状況	19
・市債（一般会計）の年度末現在高等の推移	19
・参考 地方消費税交付金（社会保障財源分）	19

3 町田市5ヵ年計画 22-26 における財政見通し（一般財源ベース）	22
-------------------------------------	----

4 町田市5ヵ年計画 22-26 の2023年度重点事業（事業費ベース）	24
--------------------------------------	----

5 2023年度予算において重点的に取り組む事業	26
--------------------------	----

参考資料

・一般会計予算（歳入・歳出）の内訳表	88
--------------------	----

I 2023年度予算の概要

1 令和5年度（2023年度）予算のポイント

(1) 予算編成方針

◇ 2023年度の予算編成にあたっては

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の実行計画である「町田市5ヵ年計画22-26」を前提とする予算と位置付け、次の点を基本に編成しました。

基本方針1 「町田市5ヵ年計画22-26」の2年目にあたり、計画を着実に推進するため、施策立案や行政経営の基本的な考え方を示した「2023年度市政運営の基本的な考え方」を念頭に予算編成を行う。

基本方針2 2023年度の予算編成において重点的に取り組む事業は、町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」のまちづくり基本目標に定めた9つの政策の実現を目指すため、「町田市5ヵ年計画22-26」の重点事業プランに位置付けられる事業とする。

基本方針3 町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の経営基本方針の改革項目のうち、予算編成においては「行政サービスのデジタル化」や、「持続可能な財政基盤づくり」、「市有財産の利活用」を特に推進する。

基本方針4 現時点における2022年度から2026年度までの「財政見通し」では、5年間で74億円の収支不足が見込まれ、大変厳しい財政状況となっている。このような状況の中、「町田市5ヵ年計画22-26」を着実に実施するため、経常事業費等の縮減及び歳入増へ向けた取り組みなどにより、収支不足の解消を図る。

《まちだ未来づくりビジョン2040》

「まちだ未来づくりビジョン2040」は、基本構想部分を担う「2040になりたい未来」と基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」で構成されます。また、ビジョンの実現に向けて、具体的な事業と取り組みを示す実行計画（5ヵ年計画）を策定します。

基本構想部分を担う「2040になりたい未来」は、2022年度から2039年度までの18年間、基本計画部分を担う「まちづくり基本目標」及び「経営基本方針」は、2022年度から2031年度までの10年間と、2032年度から2039年度までの8年間とします。

① 2040になりたい未来

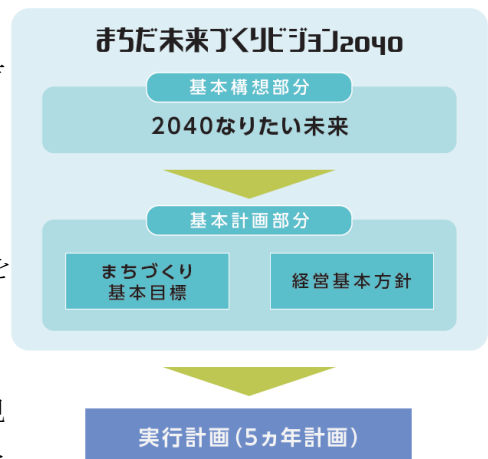
まちづくりの方向性、行政経営の方向性を明らかにし、方向性に沿って進んでいった未来の姿を「なりたいまちの姿」（都市像）、「行政経営の姿」（経営像）として掲げます。

② まちづくり基本目標

「2040になりたい未来」で掲げた、なりたいまちの姿を実現するための目標を政策・施策として体系的に示します。

③ 経営基本方針

「2040になりたい未来」で掲げた、行政経営の姿を実現するための方針を体系的に示し、「まちづくり基本目標」を支えます。



(2) 2023年度予算フレームの概要

○ 全会計歳出総額 **3,004億1,615万円** (+76億2,206万円)

一般会計と特別会計とを合わせた総予算額は、3,004億1,615万円で、対前年度比較で76億2,206万円(2.6%)の増加となりました。

○ 一般会計歳出総額 **1,684億2,648万円** (+61億6,309万円)

一般会計予算規模は、1,684億2,648万円で、対前年度比較で61億6,309万円(3.8%)の増加となりました。

○ 2023年度の特徴

2023年度当初予算は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある一方、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした先行きの不透明な経済状況下での予算編成となりました。

そのような中で、町田市の2023年度予算においては、光熱費の高騰や物価上昇の影響を適切に見込むとともに、子どもにやさしいまちづくり推進事業や新たな学校づくり推進事業など、将来を担う子どもたちにやさしい、未来に希望の持てる地域社会の実現に向けた予算を計上しております。

また、他の事業においても、「まちだ未来づくりビジョン2040」、その実行計画である「町田市5ヵ年計画22-26」の2年目にあたって、目標達成に向けた取り組みを着実に推進するための予算を計上するとともに、学校再編等にかかる将来の財政需要を見据えた予算編成を行いました。

○ 税収 **707億1,164万円** (+22億3,989万円)

- ・経済活動の回復に伴う市民税(個人・法人)の増 +12.2億円
- ・都市計画税率の改定(0.24%→0.27%)などによる都市計画税の増 +6.9億円

○ 事務事業見直し **△3億3,093万円**

① 事務事業見直しによる人件費の削減

「事務事業見直しの基本的な考え方」に基づき、各部における事務事業の見直しを行うことで、事業費を削減するとともに、総業務時間を減少させ、時間外勤務手当を含む人件費の削減を行いました。

② 経常事業の見直しによる事業費の削減

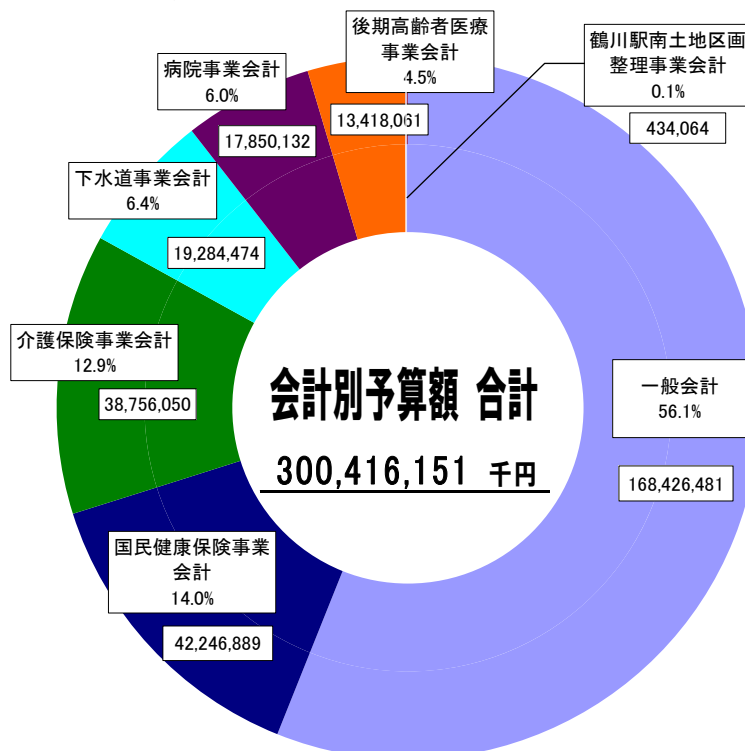
2022年度市政運営の基本的な考え方に基づき、経常事業を見直し、事業費の削減を行いました。

2 歳 入 歳 出 予 算 の 状 況

(1) 予算規模

<p>一般会計予算規模 1,684 億 2,648 万円 (前年度比 +61 億 6,309 万円、+3.8%)</p>
<p>○ 一般会計の予算規模は、前年度に比べて 3.8%増の 1,684 億 2,648 万円となりました。</p> <p><歳入></p> <p>○市税は、経済活動の回復などを見込み、前年度に比べて 22 億 3,989 万円増の 707 億 1,164 万円となり、地方交付税、市債、都支出金なども増額となる一方で、国庫支出金が新型コロナウイルスワクチン臨時接種などの影響で減額となりました。</p> <p><歳出></p> <p>○鶴川駅周辺街づくり事業や、旧清掃工場の解体工事などの投資的事業費が増額となり、社会保障費の伸びにより扶助費も増額となる一方で、人件費が定年延長などの影響で減額となりました。</p>
<p>特別会計予算規模 1,319 億 8,967 万円 (前年度比 +14 億 5,897 万円、+1.1%)</p>
<p>○ 特別会計の予算規模は、前年度に比べて 1.1%増の 1,319 億 8,967 万円となりました。</p> <p>○ 主な増減内容</p> <p>〔国民健康保険事業会計〕 被保険者の減などにより 5 億 2 千万円の減</p> <p>〔介護保険事業会計〕 要支援・要介護認定者数の増などにより 9 億 6 千万円の増</p> <p>〔後期高齢者医療事業会計〕 被保険者数や医療費の増などにより 6 億 2 千万円の増</p> <p>〔鶴川駅南土地区画整理事業会計〕 土地区画整理事業委託料の増などにより 2 億 9 千万円の増</p> <p>〔下水道事業会計〕 鶴見川クリーンセンター改良事業費の減などにより 2 億 7 千万円の減</p> <p>〔病院事業会計〕 光熱水費の増などにより 3 億 7 千万円の増</p>

■ 2023 年度 会計別予算構成 (単位：千円)

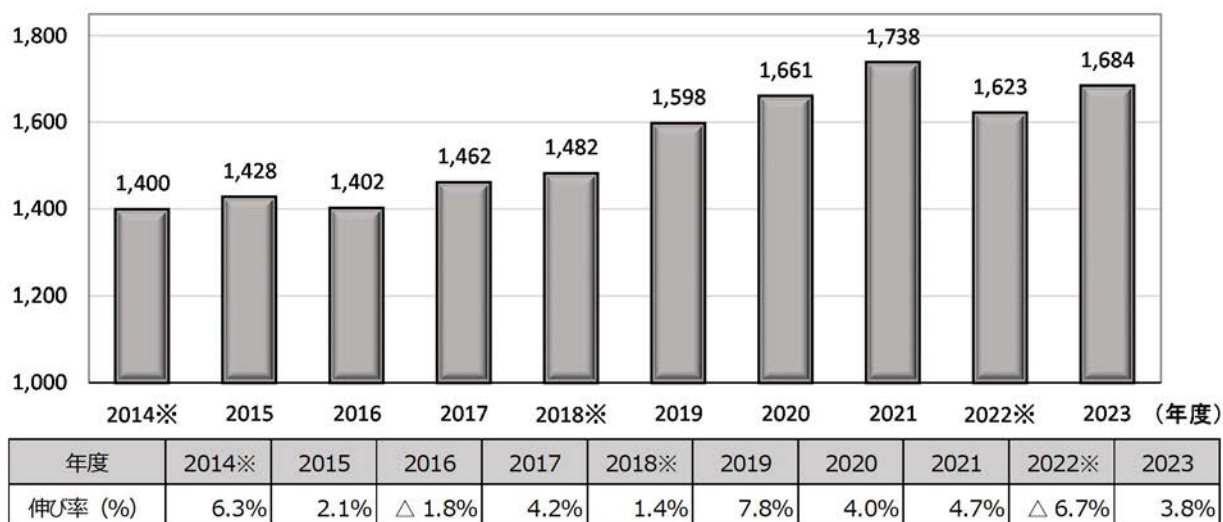


2023年度 会計別予算構成表

(単位:千円・%)

区 分		2023年度		2022年度		比 較		
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
一 般 会 計		168,426,481	56.1	162,263,396	55.4	6,163,085	3.8	
特 別 会 計	国民健康保険 事業会計	42,246,889	14.0	42,767,626	14.6	△520,737	△1.2	
	介護保険事業 会計	38,756,050	12.9	37,791,431	12.9	964,619	2.6	
	後期高齢者医療 事業会計	13,418,061	4.5	12,794,809	4.4	623,252	4.9	
	鶴川駅南土地 区画整理事業 会計	434,064	0.1	142,709	0.0	291,355	204.2	
	下水道事業 会計	19,284,474	6.4	19,557,138	6.7	△272,664	△1.4	
	収益的	12,084,916	4.0	12,114,053	4.1	△29,137	△0.2	
	資本的	7,199,558	2.4	7,443,085	2.6	△243,527	△3.3	
	病院事業 会計	17,850,132	6.0	17,476,986	6.0	373,146	2.1	
	収益的	16,174,706	5.4	15,701,016	5.4	473,690	3.0	
	資本的	1,675,426	0.6	1,775,970	0.6	△100,544	△5.7	
	小 計	131,989,670	43.9	130,530,699	44.6	1,458,971	1.1	
	合 計		300,416,151	100.0	292,794,095	100.0	7,622,056	2.6

○ 一般会計予算規模 伸び率



※2014年度、2018年度及び2022年度は、当初予算が骨格的予算のため、6月補正後の予算額です。

(2) 歳入予算

主な歳入予算	
○	市税では、経済活動の回復などにより、22億4千万円の増収を見込んでいます。
	<p><市民税></p> <p>2022年度は経済活動が回復したことに伴い、納税義務者数や法人の課税実績が増加したことにより、個人・法人合わせて12億2千万円(3.6%)の増額となりました。</p> <p><都市計画税></p> <p>都市計画税率の改定(0.24%→0.27%)などにより、6億9千万円(14.2%)の増額となりました。</p>
○	国庫支出金では、新型コロナウイルスワクチン臨時接種に伴う新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の9億5千万円の減額などにより、20億3千万円の減額を見込んでいます。
○	都支出金では、2023年10月からの高校生等医療費助成の開始に伴う高校生等医療費助成事業費補助金の2億3千万円の皆増や、障がい者サービス給付の利用増加に伴う自立支援費負担金の1億7千万円の増額などにより、12億9千万円の増額を見込んでいます。
○	市債では旧清掃工場の解体等に伴う廃棄物処理施設整備事業債の7億7千万円の増額などにより、4億1千万円の増額を見込んでいます。

2023年度 一般会計歳入予算内訳表

(単位：千円・%)

款	2023年度		2022年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 市 税	70,711,640	42.0	68,471,747	36.6	2,239,893	3.3
2. 国 庫 支 出 金	32,870,185	19.5	34,904,411	19.6	△2,034,226	△5.8
3. 都 支 出 金	25,141,463	14.9	23,850,025	13.7	1,291,438	5.4
4. 市 債	7,174,000	4.3	6,764,000	13.6	410,000	6.1
5. そ の 他	32,529,193	19.3	28,273,213	16.5	4,255,980	15.1
歳 入 合 計	168,426,481	100.0	162,263,396	100.0	6,163,085	3.8

〔市税の状況〕

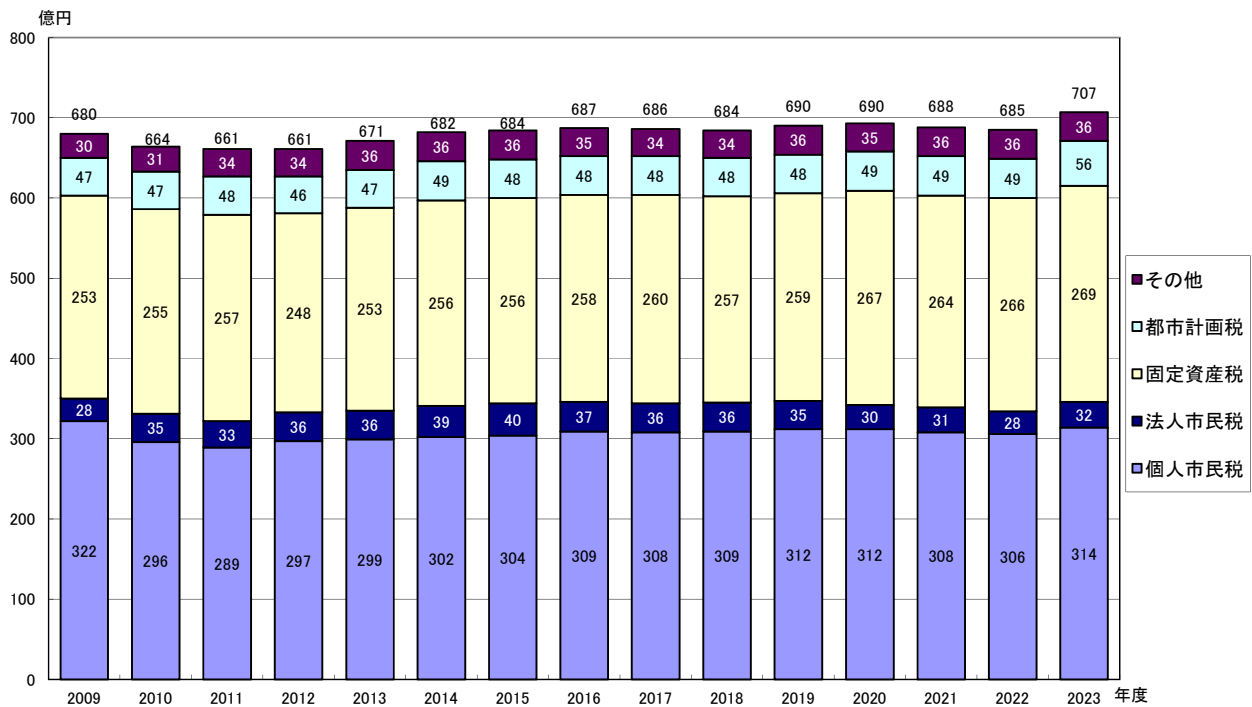
- ・ 経済活動が回復し、納税義務者数が増加したことによる個人市民税の増 8.3 億円
- ・ 都市計画税率の改定（0.24%→0.27%）などによる都市計画税の増 6.9 億円
- ・ 経済活動が回復し、課税実績が増加したことによる法人市民税の増 3.8 億円

■市税予算の内訳

（単位：千円・％）

区 分	2023年度	2022年度	比 較	
			増減額	増減率
市民税	34,595,520	33,377,297	1,218,223	3.6
個人	31,384,350	30,550,938	833,412	2.7
法人	3,211,170	2,826,359	384,811	13.6
固定資産税	26,874,293	26,574,377	299,916	1.1
土地（現年課税）	11,597,271	11,632,574	△ 35,303	△ 0.3
家屋（現年課税）	11,653,288	11,070,303	582,985	5.3
償却資産（現年課税）	3,087,792	3,199,440	△ 111,648	△ 3.5
その他	535,942	672,060	△ 136,118	△ 20.3
軽自動車税	543,246	525,342	17,904	3.4
市たばこ税	2,300,775	2,274,647	26,128	1.1
事業所税	832,918	846,831	△ 13,913	△ 1.6
都市計画税	5,559,957	4,870,006	689,951	14.2
その他	4,931	3,247	1,684	51.9
合 計	70,711,640	68,471,747	2,239,893	3.3

（参考）市税の推移



※2009～2021年度は決算額、2022、2023年度は予算額。

(3) 歳出予算

主な歳出予算	
○	2023年度は、まちだ未来づくりビジョン2040、町田市5ヵ年計画22-26の2年目にあたり、目標達成に向けた取り組みを着実に推進するため、真に必要な事業の予算を計上しています。
○	(仮称)子どもにやさしいまち条例の制定を見据え、子どもの意見を取り入れたまちづくりに取り組みます。また、未来の子どもたちにより良い教育環境を整備するための新たな学校づくりの推進や、全員給食を目指す中学校給食センターの整備など、町田の将来を担う子どもたちにやさしい、「ここでの成長がカタチになるまち」の実現を目指します。
○	多摩都市モノレール延伸を見据えた町田駅周辺を中心市街地開発の推進や、鶴川駅周辺の街づくり、新しい体験型の公園を目指す芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム整備など、「わたしの“ココチよさ”がかなうまち」の実現に向けた投資を積極的に行うほか、さらなる市民サービスの向上と市役所の生産性向上を目指し、行政のデジタル化を引き続き推進します。

2023年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

款	2023年度 予算額 (構成比)	2022年度 予算額 (構成比)	増減額 (増減率)	2023年度予算額の財源内訳				
				特定財源				一般財源 (構成比)
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1 民生費	89,047,736 (52.9%)	85,994,285 (53.0%)	3,053,451 (3.6%)	30,531,971	18,521,521	90,000	2,290,403	37,613,841 (40.4%)
2 教育費	15,223,936 (9.0%)	13,346,015 (8.2%)	1,877,921 (14.1%)	121,983	937,890	1,163,000	2,232,917	10,768,146 (11.6%)
3 土木費	15,722,196 (9.3%)	14,466,337 (8.9%)	1,255,859 (8.7%)	616,846	1,649,961	2,697,000	1,989,302	8,769,087 (9.4%)
歳出合計	168,426,481 (100.0%)	162,263,396 (100.0%)	6,163,085 (3.8%)	32,870,185	25,137,484	6,145,000	11,208,357	93,065,455 (100.0%)

○ 目的別予算のトピックス

- ・民生費は、対前年度比30億5千万円、3.6%の増となりました。これは、障がい者サービス給付事業費が9億7千万円増加したことなどによるものです。
- ・教育費は、対前年度比18億8千万円、14.1%の増となりました。これは、小・中学校教材費等公会計事業費が10億円増加したことなどによるものです。
- ・土木費は、対前年度比12億6千万円、8.7%の増となりました。これは、鶴川駅周辺街づくり関連事業費が8億6千万円増加したことなどによるものです。

2023年度 一般会計歳出予算性質別内訳表

(単位: 千円・%)

区 分	2023年度		2022年度		比 較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
義務的経費	人件費	22,650,987	13.5	23,424,590	14.4	△ 773,603	△ 3.3
	職員給与費	21,750,625	12.9	22,529,497	13.9	△ 778,872	△ 3.5
	特別職給与費等	900,362	0.6	895,093	0.5	5,269	0.6
	扶助費	57,779,036	34.3	55,581,373	34.3	2,197,663	4.0
	公債費	7,766,882	4.6	7,217,792	4.4	549,090	7.6
	計	88,196,905	52.4	86,223,755	53.1	1,973,150	2.3
投資的経費	12,769,962	7.6	10,046,807	6.2	2,723,155	27.1	
その他の経費	物件費	30,689,599	18.2	30,280,684	18.7	408,915	1.4
	維持補修費	1,080,204	0.6	874,870	0.5	205,334	23.5
	補助費等	13,203,877	7.8	13,119,193	8.1	84,684	0.6
	繰出金	20,784,961	12.3	20,540,226	12.6	244,735	1.2
	出資金・貸付金	101	0.0	101	0.0	0	0.0
	積立金	1,600,872	1.0	1,077,760	0.7	523,112	48.5
	予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
計	67,459,614	40.0	65,992,834	40.7	1,466,780	2.2	
歳出合計	168,426,481	100.0	162,263,396	100.0	6,163,085	3.8	

○ 性質別予算のトピックス

義務的経費

▶ 人件費

定年延長に伴い退職手当が減少したことなどにより、対前年度比 7 億 7 千万円、3.3%の減となりました。

▶ 扶助費

障がい者サービス給付事業や、生活保護事業などの事業費が増加したことなどに伴い、対前年度比 22 億円、4.0%の増となりました。

▶ 公債費

循環型施設整備事業や公園整備事業などの元金償還の増加等に伴い、対前年度比 5 億 5 千万円、7.6%の増となりました。

投資的経費

児童青少年施設計画営繕事業（ひなた村改修工事、自然休暇村改修工事）、循環型施設整備事業（旧清掃工場の解体工事）などの事業費が増加したことに伴い、対前年度比 27 億 2 千万円、27.1%の増となりました。

その他経費

▶ 物件費

小・中学校教材費等公会計事業費が皆増したことに伴い、対前年度比 4 億 1 千万円、1.4%の増となりました。

▶ 積立金

公共施設整備基金積立金などが増加したことに伴い、対前年度比 5 億 2 千万円、48.5%の増となりました。

(4) 積立金（基金）・市債

①積立金（基金）の状況

財政調整基金現在高は、2022年度末時点で95億9,234万円です。2023年度当初予算では34億6,774万円を取り崩し、現時点での2023年度末現在高見込額は61億3,755万円となります。

公共施設整備基金では、新たな学校づくり推進事業の整備費用がピークを迎える2027年度から2029年度までの一般財源想定額約60億円に備え、財政負担の平準化を図るため、その1/2にあたる30億円を目標額とし、毎年当初予算において5億円の積立てを行います。

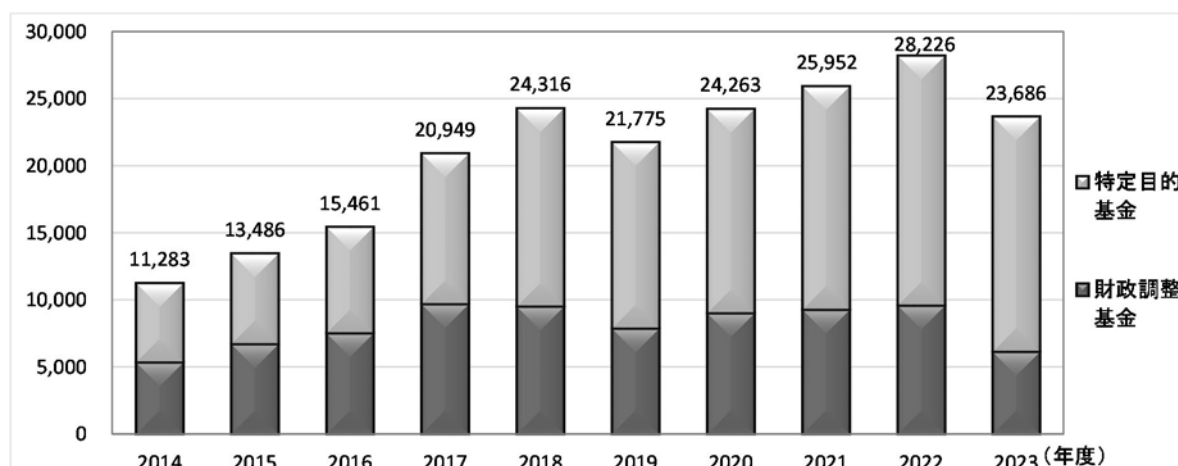
基金現在高

区 分	2021年度末 現在高	2022年度末 現在高見込額	2023年度中増減見込み		2023年度末 現在高見込額
			当該年度中 積立額	当該年度中 取崩・繰込 見込額	
	千円	千円	千円	千円	千円
財政調整基金	9,285,137	9,592,343	12,945	3,467,735	6,137,553
公共施設整備基金	6,755,212	7,901,037	540,086	842,659	7,598,464
緑地保全基金	1,432,304	1,239,280	1,992	91,831	1,149,441
福祉基金	76,555	101,640	35,111	—	136,751
職員退職手当基金	2,317,251	2,895,522	—	—	2,895,522
介護保険給付費 準備基金	2,977,166	3,087,923	4,131	555,000	2,537,054
廃棄物減量再資源化等推 進整備基金	1,991,291	1,947,496	591,154	1,122,683	1,415,967
まちだ未来づくり基金	365,158	455,762	166,551	64,621	557,692
多摩都市モノレール基金	750,500	1,001,293	251,033	—	1,252,326
まち・ひと・しごと創生基金	1,600	3,600	2,000	—	5,600
合 計	25,952,174	28,225,896	1,605,003	6,144,529	23,686,370

※ 2021年度末現在高は、出納閉鎖時の（2022年5月31日現在）現在高です。

※ 2022年度末現在高は、3月補正後時点の現在高です。

■基金の年度末現在高の推移（単位：百万円）



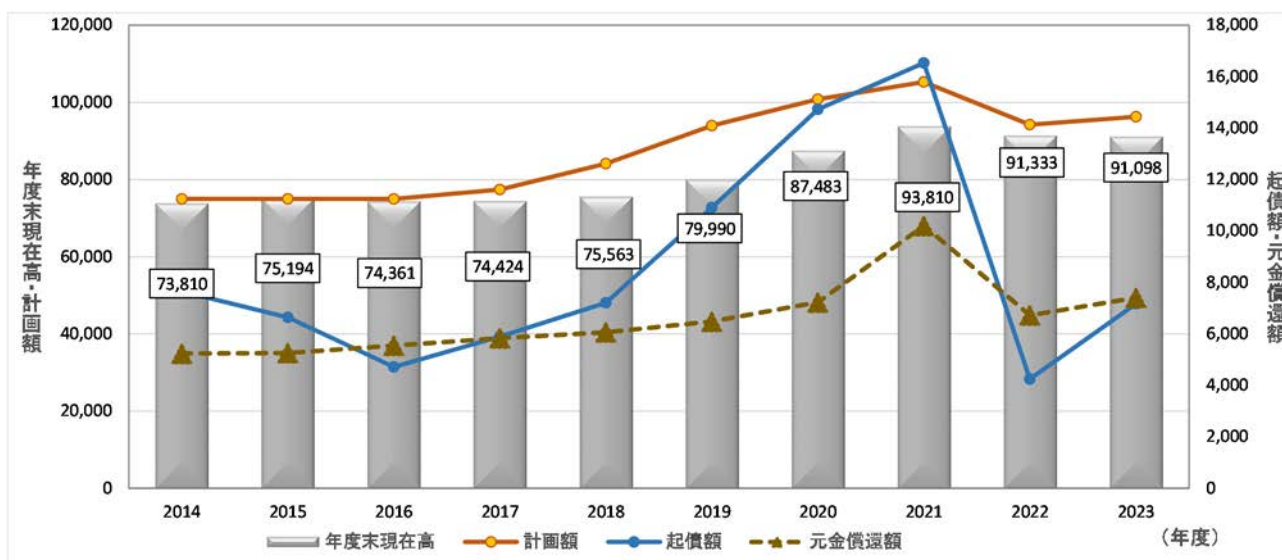
②市債の状況

一般会計の2023年度起債見込額は71億7,400万円となり、2023年度末の市債元金現在高見込額は910億9,751万円になります。

区 分	2021年度末 現在高	2022年度末 現在高見込額	2023年度中増減見込み		2023年度末 現在高見込額
			当該年度中 起債見込額	当該年度中 元金償還見込額	
	千円	千円	千円	千円	千円
一 般 会 計	93,810,183	91,332,824	7,174,000	7,409,315	91,097,509
下 水 道 事 業 会 計	42,396,509	43,496,931	3,410,900	3,071,548	43,836,283
病 院 事 業 会 計	10,546,773	10,223,030	—	1,099,995	9,123,035
合 計	146,753,465	145,052,785	10,584,900	11,580,858	144,056,827

※2022年度末現在高は、3月補正後時点の現在高です。

■市債（一般会計）の年度末現在高等の推移（単位：百万円）



<参考>

【地方消費税交付金（社会保障財源分）】

2014年4月および2019年10月の地方消費税率の引上げに伴う交付金の増分は、以下の社会保障施策に要する経費の財源としています。

（単位：億円）

	2023年度 予算額	うち一般財源	
		地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	
社会福祉	678.2	194.5	30.2
社会保険	177.4	153.4	23.8
保健衛生	40.6	32.4	5.0
合計	896.2	380.3	59.0

※地方消費税交付金（社会保障財源分）は、各経費に要する一般財源の比率に応じて活用しています。

3 町田市5ヵ年計画 22-26 における財政見通し（一般財源ベース）

町田市5ヵ年計画 22-26 における財政見通し（一般財源ベース）

町田市5ヵ年計画 22-26 財政見通しの 2023 年度（令和 5 年度）計画額と、予算額の比較及び計画の進捗状況は以下のとおりです。

		(単位:百万円)				
	A 2022~2026年度 までの計画事業費	B 2023年度 (令和5年度) 計画額	C 2023年度 (令和5年度) 予算額	C-B 比較	D 計画の進捗状況 (2023年度まで:予算ベース)	
					予算額合計	進捗率
歳入（一般財源）	475,680	93,451	97,528	4,077	191,523	40.3%
市税	346,620	69,348	70,712	1,364	139,184	40.2%
譲与税・交付金等	70,572	14,037	16,463	2,426	30,566	43.3%
基金繰入金	18,115	2,000	4,310	2,310	8,294	45.8%
その他	40,373	8,066	6,043	▲ 2,023	13,479	33.4%
歳出（一般財源）	483,158	93,858	97,528	3,670	191,523	39.6%
義務的経費	202,412	39,335	40,204	869	80,195	39.6%
人件費	97,149	19,000	19,280	280	39,376	40.5%
正規職員	81,152	15,820	15,976	156	32,865	40.5%
うち退職手当	4,544	334	656	322	1,968	43.3%
会計年度任用職員	15,997	3,180	3,304	124	6,511	40.7%
扶助費	64,863	12,799	13,157	358	25,834	39.8%
公債費	40,400	7,536	7,767	231	14,985	37.1%
その他の経費	280,746	54,523	57,324	2,801	111,328	39.7%
繰出金等	90,539	17,609	18,404	795	36,521	40.3%
事業費	190,207	36,914	38,920	2,006	74,807	39.3%
経常事業費等	156,364	31,271	33,920	2,649	65,318	41.8%
政策的事業費	33,843	5,643	5,000	▲ 643	9,489	28.0%
歳入－歳出 (= ▲収支不足額)	▲ 7,478	▲ 407	0		0	

<歳入>

◇歳入については、計画額よりも 40 億 8 千万円の増となりました。

市税では、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的であったことなどに伴い、個人市民税が 7 億 5 千万円の増、法人市民税が 4 億円の増となりました。

譲与税・交付金等では、国の 2023 年度地方財政計画における見通しに基づき、地方交付税が 10 億円の増額となる一方で、その他の収入では、臨時財政対策債が 20 億 3 千万円の減額となりました。また、基金繰入金において、財政調整基金繰入金が 19 億 8 千万円の増となりました。

<歳出>

◇歳出については、計画額よりも 36 億 7 千万円の増額となりました。

政策的事業では 6 億 4 千万円の減額となる一方で、経常事業では、物価高騰の影響に伴う光熱水費の増額や 公共施設整備基金の積立金などにより 26 億 5 千万円の増となりました。

また、繰出金では、国民健康保険事業会計について医療費の伸びの影響で計画額を上回る一方、介護保険事業会計について実績を踏まえた給付見込みにより計画額を下回りました。

4 町田市5ヵ年計画 22-26 の 2023 年度重点事業（事業費ベース）

町田市5ヵ年計画 22-26 の 2023 年度重点事業（事業費ベース）



○政策 1：赤ちゃんに選ばれるまちになる・・・・・・・・・・・・・・・・6 億 7,841 万円

地域における子育て支援の充実／送迎保育による多様な保育サービスの推進／病児・病後児保育の充実／保育の質の向上／教育・保育施設の整備

○政策 2：未来を生きる力を育み合うまちになる・・・・・・・・・・16 億 8,314 万円

子どもの参画の推進／子どもクラブの整備／学童保育クラブの整備／えいごのまちだの推進／ICT教育の充実／新たな学校づくりの推進／中学校給食センターの整備／小学校施設の整備／中学校施設の整備

○政策 3：自分らしい場所・時間を持てるまちになる・・・・・・・・・・2 億 3,480 万円

働きやすいまちづくりの推進／シティプロモーションの推進／シティセールスの推進／町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上の推進／里山環境の活用と保全

○政策 4：いくつになっても自分の楽しみが見つかるまちになる・・・・・・・・5 億 5,284 万円

ワタシが主役の図書館づくりの推進／新たな図書館様式の推進／地域スポーツ環境の充実／野津田公園スポーツの森の整備／忠生スポーツ公園の整備／スポーツをする場の環境整備

○政策 5：人生の豊かさを実感できるまちになる・・・・・・・・・・1 億 5,224 万円

地域介護予防活動支援／認知症の人やその家族の居場所づくり／介護人材の確保・育成・定着

○政策 6：つながり力を力にするまちになる・・・・・・・・・・26 億 2,400 万円

地域活動団体支援／町田市地域ホッとプランの推進／地球温暖化対策の推進／循環型施設の整備／プラスチックごみの減量の推進

○政策 7：ありのまま自分を表現できるまちになる・・・・・・・・・・7,078 万円

性の多様性への理解／障がい者差別解消推進／成年後見制度の利用支援

○政策 8：思わず出歩きたくなるまちになる・・・・・・・・・・62 億 3,868 万円

鶴川駅周辺のまちづくりの推進／相原駅周辺のまちづくりの推進／忠生・北部丘陵地区のまちづくりの推進／木曾山崎地区のまちづくりの推進／町田駅周辺地区のまちづくりの推進／中心市街地の賑わい空間の創出／（仮称）蓮田公園の整備／芹ヶ谷公園芸術の杜・（仮称）国際工芸美術館の整備

○政策 9：みんなが安心できる強いまちになる・・・・・・・・・・7 億 3,606 万円

自主防災リーダーの育成／避難行動要支援者の避難支援体制整備／地震対策（雨水管・下水道処理施設）／無電柱化の推進／交通安全ミーティングの推進／道路安全設備の緊急更新

5 2023年度予算において重点的に取り組む事業

2023 年度予算において重点的に取り組む事業

新規 全部もしくは一部が新たに実施する事業

拡充 事業の内容を拡充し行う事業

町田市 5 ヶ年計画 22-26 における主な取り組み（重点事業）

まちだの子どもたちのために ～ここでの成長がカタチになるまち～

新規 **子どもにやさしいまちづくり事業** **2,026 万円**（30 ページ）

子どもにやさしいまち条例を制定します。子どもがやりたいことを実現する事業「まちだ若者大作戦」を行います。

拡充 **出産・子育て応援事業** **6,401 万円**（32 ページ）

妊娠から出産、子育てに臨む家庭に寄り添った相談支援と経済的支援をパッケージで実施し、より安心して出産・子育てができる環境を整備します。

待機児童解消対策事業 **1 億 6,258 万円**（34 ページ）

待機児童解消のため、認可保育所 1 園の整備等を実施します。

新規 **保育園・幼稚園等安全対策支援事業** **4 億 4,700 万円**（35 ページ）

送迎バスへの置き去りや、施設からの飛び出しなどの子どもの事故防止のための安全装置などの設置費用の補助を行います。

拡充 **子どもクラブ整備事業** **1 億 5,444 万円**（36 ページ）

小山子どもクラブは、2023 年 7 月の開館に向けて、引き続き建設工事を行います。（仮称）成瀬地区子どもクラブは、基本・実施設計を行います。

新規 **学校教材費等公会計事業** **10 億 766 万円**（37 ページ）

2023 年 4 月から町田市立小・中学校の教材費等学校徴収金を公会計に移行します。

中学校給食センター整備事業 **3 億 1,422 万円**（38 ページ）

2025 年度までに町田忠生小山エリア、南エリア及び鶴川エリアに PFI 手法・リース方式を活用して給食センターを整備し、中学校全員給食を導入します。

拡充 **新たな学校づくり推進事業** **2 億 600 万円**（40 ページ）

本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西及び南第一小学校地区の「新たな学校づくり基本計画」に基づき、学校統合・単独建替えに向けた設計・調査等を行います。

小・中学校増改築事業 **3 億 6,336 万円**（42 ページ）

教室が不足する南つくし野小学校で、増築棟の建設を行います。また、中学校 5 校でエレベーター設置工事に着手します。

新規 **高校生等医療費助成事業** **2 億 1,364 万円**（43 ページ）

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、高校生相当年齢の児童の医療費を助成します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

まちだでちょうどいい暮らし ～わたしの“ココチよさ”がかなうまち～

多摩都市モノレールまちづくり推進事業 2億6,974万円 (44ページ)

モノレールの需要創出に資する沿線まちづくりの構想策定を行います。また、木曽山崎団地地区では、基盤検討に必要な測量を行います。

中心市街地開発推進事業 3,092万円 (45ページ)

町田駅周辺開発の共通指針となる「町田駅周辺整備計画」策定を目指します。森野住宅周辺地区のまちづくりのための、導入機能の調査や測量を行います。

中心市街地活性化推進事業 6,328万円 (46ページ)

関係機関協議及び地域関係者等への説明を行い、原町田大通り滞留空間等整備工事に着手します。

小田急多摩線延伸促進事業 850万円 (47ページ)

延伸の早期実現を目指して、相模原市と共同で必要な調査検討等を実施します。

相原駅周辺街づくり事業 7億3,621万円 (48ページ)

東口駅前広場に接する地権者等と駅前街区の再編整備に向け協議を進めます。また、東口駅前広場の設計等を行い、東口へのアクセス路の整備を進めます。

鶴川駅周辺街づくり事業 16億9,238万円 (50ページ)

北口広場の整備工事、南口アクセス道路の用地取得、整備工事等を行います。また、鶴川駅土地区画整理事業では、建物等移転、整備工事を行います。

野津田公園スポーツの森整備事業 2億5,788万円 (53ページ)

町田G I O Nスタジアムの照明のLED化工事を行います。また、スケートボード等ができるスケートパークの基本設計等を行います。

忠生スポーツ公園整備事業 2億2,252万円 (54ページ)

2023年9月の開園に向けて、整備工事を行います。

新規 スポーツをする場の環境整備事業 5,650万円 (56ページ)

本町田後田公園・金森調節池上部スポーツ施設の整備を行います。また、(仮称)町田木曽山崎パラアリーナの整備に向け、整備方針の検討等を行います。

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業 8億3,354万円 (58ページ)

「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するため、芹ヶ谷公園“芸術の杜”と(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館等を整備します。

新規 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業 9,558万円 (60ページ)

リス園のリニューアルに向けて基本計画策定や北園の用地取得を行います。

香山緑地整備事業 8,626万円 (61ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため香山緑地内にある既存建物の耐震・改修工事や厨房棟・トイレ棟の新築工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

(仮称) 蓮田緑地整備事業 **3億1,406万円** (62ページ)

(仮称) 蓮田緑地の用地取得及び整備工事を行います。

(仮称) 大戸広場整備事業 **3億461万円** (63ページ)

(仮称) 大戸広場の用地取得、整備に係る実施設計及び地質調査等を行います。

忠生 630 号線・忠生 579 号線整備事業 **3億3,384万円** (64ページ)

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路の整備を進めます。

都市計画道路築造事業 **19億5,543万円** (65ページ)

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

地域交通推進事業 **9,397万円** (69ページ)

地域コミュニティバス等の運行や地域の実情にあった地域交通の導入支援、バス事業者と連携したバス待ち環境の改善に取り組みます。

新たな図書館づくり推進事業 **2,542万円** (70ページ)

鶴川図書館を市民協働型の運営に再構築するため運営団体設立支援を行うとともに、24時間365日どこでも利用できる電子書籍サービスを運用します。

地域回遊イベント事業(まちだ謎解きゲーム第3弾) **2,963万円** (71ページ)

市内を回遊する謎解きイベントを開催し、市の魅力を市内外に発信します。

まちだで人と人、人とまちがつながる ~誰もがホッとできるまち~

新規 **性の多様性への理解促進事業** **65万円** (72ページ)

性の多様性への理解を深めるため、啓発活動を行います。「町田市性の多様性の尊重に関する条例」に基づきパートナーシップ宣誓制度を導入します。

拡充 **地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業** **3,785万円** (73ページ)

相原地区及び小山地区に加えて、新たに2024年1月から鶴川地区に地域福祉コーディネーターを配置するなど、福祉の相談支援体制を強化します。

拡充 **避難行動要支援者避難支援体制整備事業** **1,233万円** (74ページ)

避難行動要支援者の個別避難計画作成に向けて、新たな避難支援体制を整備します。また、避難行動要支援者名簿等を管理するシステムを導入します。

地域介護予防活動支援事業 **1億1,907万円** (75ページ)

高齢者が身近な場所で介護予防活動や、社会参加ができる環境づくりを行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

共創プラットフォーム推進事業 **1,264万円** (76 ページ)

地域課題の解決や地域活動の支援を行い、プラットフォームの構築を推進します。

里山環境整備事業 **5,460万円** (77 ページ)

地域住民や企業・団体等と連携・協働しながら里山環境の活用を推進します。

無電柱化推進事業 **3億2,625万円** (78 ページ)

良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、原町田中央通り、町田623号線、文学館通りの無電柱化を進めます。

拡充 次世代エネルギー等推進事業 **1,450万円** (79 ページ)

家庭用燃料電池の設置奨励金の給付や電気自動車用急速充電器の設置、水素エネルギーの普及啓発環境学習会の実施により脱炭素社会の実現を目指します。

循環型施設整備事業 **25億4,478万円** (80 ページ)

旧工場棟の解体工事とストックヤード棟の建築工事を進めます。また、資源ごみ処理施設については、用地取得や法令手続等を進めます。

まちづくりを支える行政経営 ～みんなの“なりたい”がかなうまち～

拡充 デジタル化推進事業 **3億3,446万円** (82 ページ)

「町田市デジタル化総合戦略2022」に基づき、デジタル技術の徹底的活用による市民の利便性向上と市役所の生産性向上を目指します。

公共施設等マネジメント事業 **6,756万円** (84 ページ)

公共施設再編計画に基づき、町田駅周辺公共施設の再編プロジェクトや、その他公共施設の再編に向けた取り組みを推進します。

公共施設等維持保全事業 **22億4,842万円** (86 ページ)

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

件名	子どもにやさしいまちづくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
20,258			0	0	0	0

【事業の背景・目的】

町田市は、全国で5自治体である、ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)」の実践自治体として、2021年度に承認を受けて、子どもの視点によるまちづくりやサービス改革を進めています。

2023年度には、「町田市子ども憲章」やCFCIの理念等を踏まえた「(仮称)子どもにやさしいまち条例」を制定し、「子どもにやさしいまち」の更なる推進を図ります。また、条例制定を見据え、大人と子どもと一緒に「子どもにやさしいまち」を実現する機運を醸成するため、子どもがやりたいことを実現する事業「まちだ若者大作戦」を試行的に実施します。

【事業の内容】

①町田市版 CFCI の推進

「子どもにやさしいまち」の実現に向け、「子どもにやさしいまち」の基準となる町田市独自のチェックリストを用いて、子ども施策を自己評価したのち外部意見を聴取して改善に取り組みます。

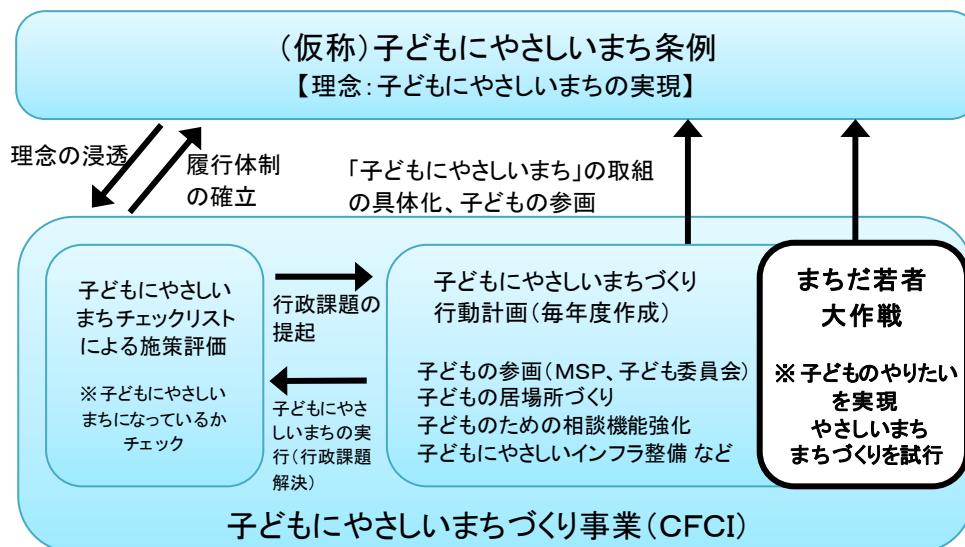
②「(仮称)子どもにやさしいまち条例」の制定

2024年1月の条例公布を目指し、2022年度に引き続き、町田市子ども・子育て会議及び(仮称)子どもにやさしいまち条例検討部会で検討を行います。子どもの権利を守るために、子どもの権利や大人の義務について、条例案作成のための審議を行います。また、「(仮称)子どもにやさしいまち条例」の周知・啓発活動を行います。

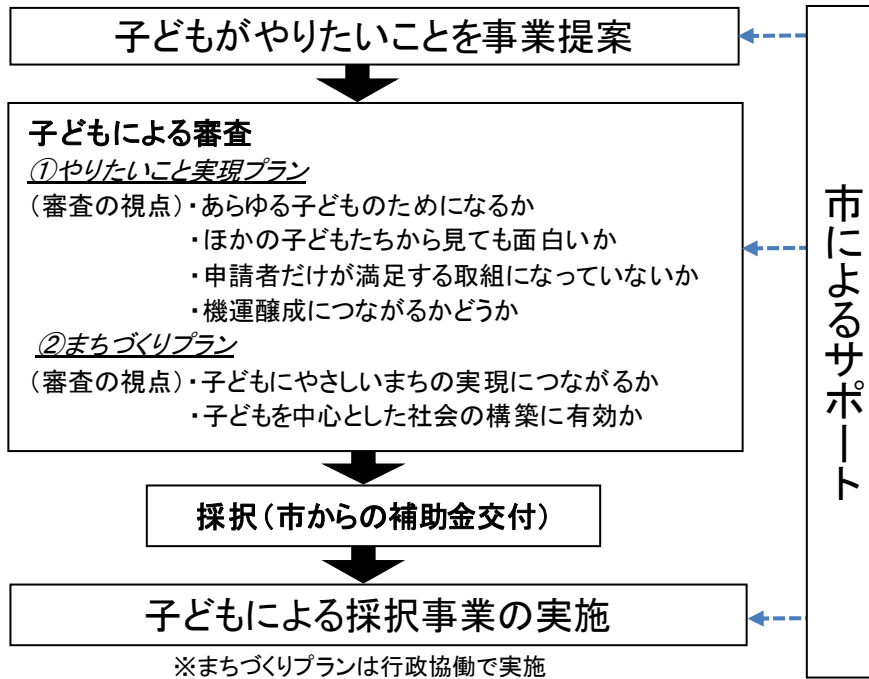
③まちだ若者大作戦の実施

行政活動を含むあらゆる活動に子どもの意見を取り入れ、「子どもにやさしいまち」を大人と子どもで創り上げるため、「まちだ若者大作戦」を実行し、子どものやりたいことや子どもの意見を取り入れたまちづくりを実施します。

【子どもにやさしいまち関連図】



【まちだ若者大作戦 事業提案から実施までの流れ】



【スケジュール】

年度	2023												2024			2025	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6~3	4~3	
② 条例	●	● ☆		☆	●	● 答申	☆	●	● 議会	● 公布	●	◎		◎ 施行			
	パブリックコメント		子どもヒアリング				公布準備				周知・啓発活動						
③ 大作戦	試行実施(募集・選定・実施)												募集・選定・実施			募集・選定・実施	

●子ども・子育て会議 ☆(仮称)子どもにやさしいまち条例検討部会 ◎イベント

【主な事業費】

①CFC 日本型モデル検討支援業務委託料	2,500 千円
②(仮称)子どもにやさしいまち条例周知啓発活動支援業務 及び次期子どもに関する総合計画策定支援委託料	11,370 千円
②子ども・子育て会議委員報酬	1,779 千円
②(仮称)子どもにやさしいまち条例広報物印刷製本費	361 千円
③まちだ若者大作戦補助金	2,000 千円
③まちだ若者大作戦実施支援業務委託料	1,000 千円
③まちだ若者大作戦広告費	250 千円

問合せ先	子ども生活部 子ども総務課長 大坪 児童青少年課長 早出	電話	724-2876 724-4097
------	---------------------------------	----	----------------------

件名	出産・子育て応援事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
64,005 (614,182)			10,098 (376,941)	53,905 (237,239)	0 (0)	0 (0)

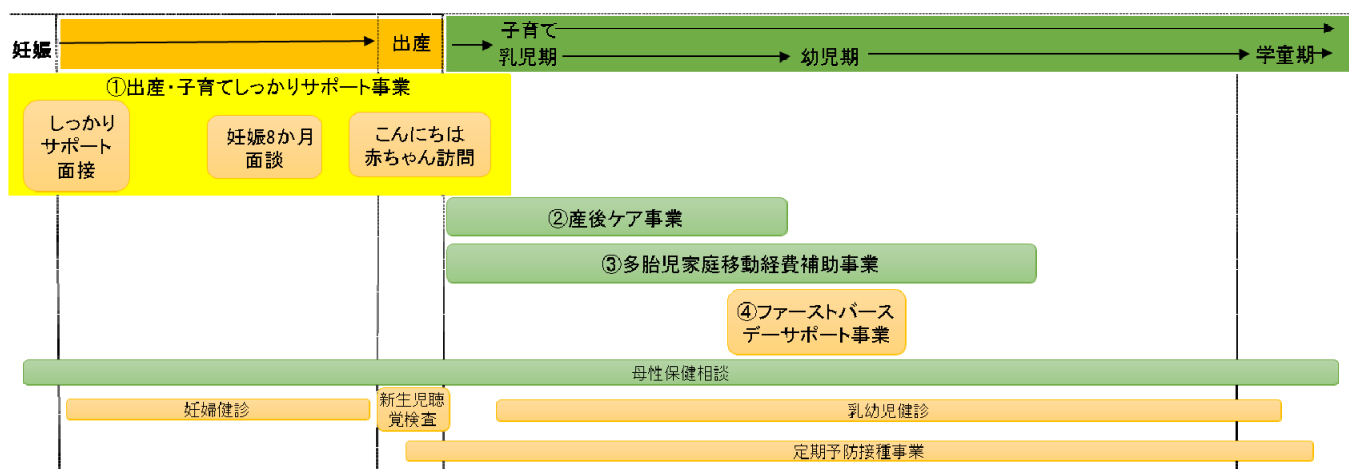
※()内は、2022 年度 3 月補正予算に先行分として計上したものを加えたもの

【事業の背景・目的】

核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、これまで以上に出産・育児に対する不安や悩みを抱えた家庭への支援が求められています。市内すべての子育て家庭に妊娠期から寄り添い、誰もが安心して出産を迎え、子育てできるよう、家庭の状況に応じた相談支援や経済支援を行います。

【事業の内容】

妊婦健診や乳幼児健診などの法定健診や保健指導に加え、4 つの事業で育児支援を実施します。



事業	内容
①出産・子育てしっかりサポート事業 ※2022 年度 3 月補正 予算計上事業	妊娠届出時のしっかりサポート面接や妊娠 8 か月時アンケートなど、伴走型相談支援の充実と、妊娠時と出産時に 5 万円相当の出産・子育て応援ギフトを送る経済的支援を実施します。
②産後ケア事業	育児の不安、負担を軽減するため、医療機関、助産院、または利用者宅において、母体ケア、乳児ケア、育児相談を実施します。
③多胎児家庭支援事業 (移動経費補助)	0 歳、1 歳、2 歳の誕生日を迎える多胎児を養育する家庭に対し、保健師等が面接を行い、予防接種や乳幼児健診に行く際の移動の負担を軽減するため、タクシーに利用できる券を配付します。
④ファーストバースデーサポート事業	1 歳の誕生日を目安にアンケートによる状況把握に加え、育児パッケージを配布し、子育て支援等の情報提供を行います。

【主な事業費】

②事業・業務委託料(産後ケア事業)	19,402 千円
③消耗品費(多胎児移動支援タクシーチケット)	2,400 千円
④消耗品費(ファーストバースデーサポート事業育児パッケージ)	41,650 千円
(再掲)2022 年度 3 月補正予算	
①事業・業務委託料(出産・子育て応援ギフト)	550,000 千円

【主な特定財源】

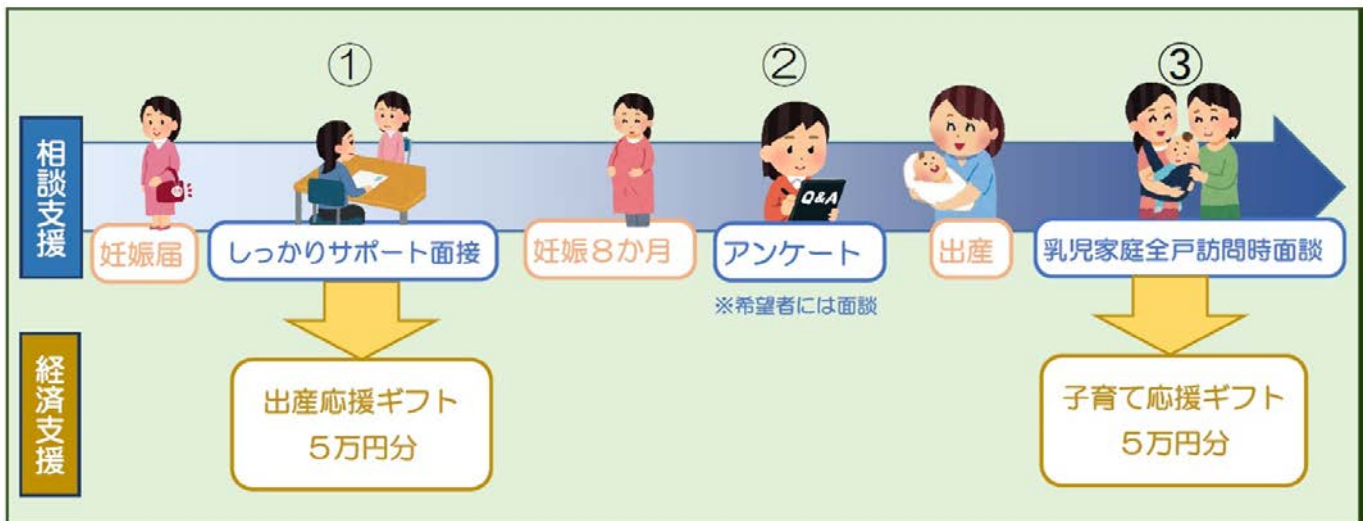
②母子保健衛生費補助金(国 1/2)	9,700 千円
②③④とうきょうママパパ応援事業費補助金(都 10/10 など)	53,805 千円
(再掲)2022 年度 3 月補正予算	
①出産・子育て応援交付金(国 2/3)	366,843 千円
①とうきょうママパパ応援事業費補助金(都 1/3)	183,334 千円

(再掲)出産・子育てしっかりサポート事業

2023 年 3 月から出産・子育てしっかりサポート事業を拡充して実施します。

現在実施している①の「妊娠された方へのしっかりサポート面接」や、③の「出生後の乳児家庭全戸訪問時の面談」に加え、新たに②の「妊娠 8 か月を迎えた方へのアンケート実施と子育て情報の提供」を実施し、妊産婦とご家族の方への情報発信や相談を継続的にいきます。また、妊娠時に 5 万円分、出産時に 5 万円分の出産・子育て応援ギフトをお渡しし、経済的支援を行います。このように、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行うことで、すべての妊婦・子育て家庭が、より安心して出産・子育てができる環境を整備します。

また、この事業は④2022 年 4 月に遡及して実施し、2022 年 4 月から 2023 年 2 月までに出生した子を持つ家庭には、アンケートを実施した上で、出産・子育て応援ギフト 10 万円分を支給、2023 年 2 月までに妊娠届をし、3 月以降に出生した家庭に対しては、出産・子育て応援ギフトに 5 万円を加算して支給します。



問合せ先	保健所 保健予防課保健対策担当課長 川瀬	電話	725-5471
------	----------------------	----	----------

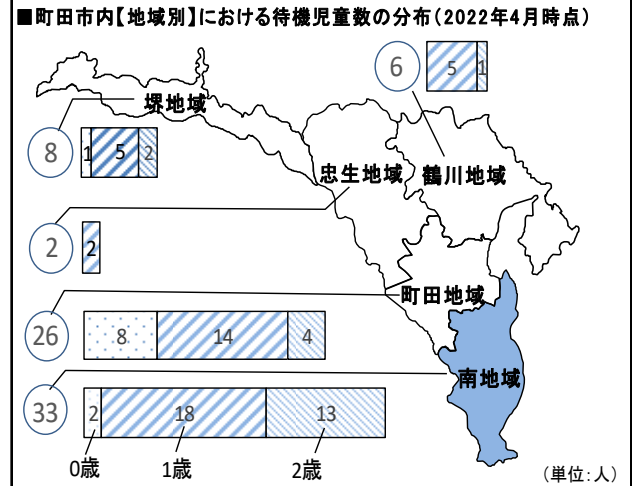
件名	待機児童解消対策事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
162,580		42,000	63,317	43,000	0	14,263

【事業の背景・目的】

町田市の2022年4月時点の待機児童数は75人であり、南地域以外では、保育ニーズに対する保育施設の定員数は充足しています。一方で、南地域では、2023年4月開所の認可保育所1園（3歳児未満の定員31人）の整備を進めているものの、2023年度以降も保育ニーズの増加による定員数の不足が見込まれます。このことから、南地域において、2024年4月開所の認可保育所1園を整備します。

また、引き続き、開所後間もない施設の空き定員等を活用し、待機児童の多い1歳児を一時的に受け入れる事業を実施します。

年度	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月
待機児童数	146人	127人	130人	76人	75人
対前年度増減	△83人	△19人	3人	△54人	△1



【事業の内容】

①認可保育所整備事業

南地域に、定員60人規模の認可保育所1園を開設するための施設整備費、備品購入費等を補助します。

事業	地域	定員		開所予定
		うち3歳児未満		
認可保育所整備事業	南	60人	24人	2024年4月

②余裕施設活用型1歳児受入事業

南地域で、認可保育所の空き定員等を活用し、待機児童の多い1歳児の受入を行うための運営費及び事業開始に要する備品等の購入費を補助します。

事業	地域	受入人数		受入実施予定
運営費等補助事業	南	3人×2園	6人	2023年4月
準備経費補助事業		3人×1園	3人	2024年4月

【事業費】

- ①民間保育所整備事業費補助金 145,950 千円
- ②保育所等一時保育事業補助金（2園） 15,630 千円
- ②余裕施設活用型1歳児受入事業費補助金（1園） 1,000 千円

【主な特定財源】

- ①保育対策総合支援事業費補助金（国 2/3） 42,000 千円
- ①待機児童解消支援事業費補助金（都） 49,349 千円
- ②緊急1歳児受入事業費補助金（都） 13,968 千円

問合せ先	子ども生活部 保育・幼稚園課長 粕川 子育て推進課長 香月	電話	724-2138 724-4468
------	----------------------------------	----	----------------------

件名		保育園・幼稚園等安全対策支援事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
447,000		65,700	381,300	0	0	0

【事業の背景・目的】

国は、2022年12月に、園児置き去り事故を防ぐための緊急対策として、送迎バスへの安全装置の設置等について補助を行うため、保育対策総合支援事業費補助金における保育環境改善等事業を拡充することを決定しました。東京都も、同様の事業に対し都独自に対象を拡充する予定です。

市では、これらの国と都の事業を活用し、送迎バス等への安全装置の設置について補助等を行うことにより、保育園等における子どもの安全確保の取組を支援します。

【事業の内容】

送迎バスへの子どもの置き去りや施設からの飛び出しなどの事故防止に係る安全装置の設置等に必要な経費に対する補助など※を行います。

※ 市の直営施設は、工事請負費・修繕費等で設置します。

支給対象(施設類型 等)	① 送迎バス安全対策支援事業		② 施設の事故防止支援事業	
	対象車両数	予算額	対象施設数	予算額
認可保育所(公立保育園含む。)	10台	10,000千円	75施設	154,000千円
幼稚園・認定こども園	106台	106,000千円	38施設	43,000千円
地域型保育事業(家庭的保育者・小規模保育所)	5台	5,000千円	32施設	64,000千円
認証保育所	4台	4,000千円	4施設	8,000千円
学童保育クラブ	-	-	17施設	34,000千円
病児・病後児保育施設	-	-	7施設	14,000千円
子ども発達センター	3台	3,000千円	1施設	2,000千円
合計	128台	128,000千円	174施設	319,000千円

【事業費】

①送迎バスの子どもの置き去り防止支援事業補助金	125,000 千円
①子ども発達センター通園バス運行等委託料	3,000 千円
②施設の事故防止支援事業補助金	273,000 千円
②改修工事費	44,000 千円
②施設修繕費	2,000 千円

【特定財源】

保育対策総合支援事業補助金(国 10/10)	65,700 千円
保育園等における送迎バス等安全対策支援事業補助金(都 10/10)	381,300 千円

問合せ先	子ども生活部	児童青少年課長 早出	電話	724-4097
		保育・幼稚園課長 粕川		724-2138
		子育て推進課長 香月		724-4468
		子ども発達支援課長 石崎		709-3455

件名		子どもクラブ整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
154,435		6,918	25,218	10,000	0	112,299

【事業の背景・目的】

子どもたちが、様々な体験活動や異なる世代との交流を通して、社会性やコミュニケーションを育むことのできる場の提供が求められています。子どもの居場所の更なる充実を図るため、「新・町田市子どもマスタープラン」に基づき、市内5カ所の子どもセンターへのアクセスが難しい地域のうち、児童数が多い地域へ子どもセンターを補完する子どもクラブの整備を進めます。

【事業の内容】

①小山田子どもクラブ整備

2022年7月に建設工事に着手しており、木造建築により、周辺の豊かな自然と調和し、木の温もりや柔らかさを感じられる施設を目指して、2023年7月の開館に向けた整備を進めます。

施設の概要	所在地	小山田桜台 2-1-2
	延床面積	482.95 m ²
	構造	木造平屋建て
	利用対象	0歳から18歳の児童及びその保護者
	主要施設	遊戯室、集会室、乳幼児室
	開館時間	10時から18時

②(仮称)成瀬地区子どもクラブ整備

成瀬コミュニティセンター(西成瀬 2-49-1)グラウンドに、2025年3月の開館を目指して、基本・実施設計を行います。

【スケジュール】

年度	2023												2024											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①小山田	整備工事			開館																				
				開館準備																				
②(仮称)成瀬	契約準備	基本・実施設計										契約準備	整備工事										開館	
																							開館準備	

【主な事業費】

【特定財源】

①整備工事費	119,079千円	①次世代育成支援対策交付金(国)	6,918千円
①工事監理委託料	8,567千円	①子ども家庭支援包括補助事業費	18,300千円
(2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費		補助金(都 1/2)	
300,567千円)		①児童館整備費補助金(都)	6,918千円
②基本・実施設計委託料	18,887千円	②児童福祉施設整備事業債	10,000千円
②地盤調査委託料	5,852千円		

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 早出	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件名	学校教材費等公会計事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,007,660		0	0	0	993,751	13,909

【事業の背景・目的】

町田市立小・中学校で学校長が「私会計」で徴収・管理している学校教材費等(ドリルブック、校外学習の交通費等)について、2023年4月から、市の予算に計上する「公会計」で徴収・管理し、保護者の利便性の向上と教員の負担軽減を図ります。

【事業の内容】

- ・各学校が行っていた保護者への通知・集金・未払い者への対応などを市が担います。
- ・市は、各学期の始めに各学校が作成する学校教材費等購入計画に基づき、学校教材等の種類及び費用の予定を保護者へお知らせします。また、各学期の実績又は見込み額に基づき決定した保護者負担金の支払いについて、納入通知書を送付します。
- ・各学校は、学校教材費等購入計画に基づき、教材等を購入します。
- ・保護者は、学校教材等の利用申込み及び口座振替の申込みをオンラインで手続きすることが可能です。
- ・口座振替可能な金融機関を1行から17行へ拡充します。

【スケジュール】(例：3学期制の場合)

年度	2023											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
購入計画	作成・発送 (1学期分)				作成・発送 (2学期分)				作成・発送 (3学期分)			
教材費等の購入	教材費等の購入 (1学期分)				教材費等の購入 (2学期分)				教材費等の購入 (3学期分)			
納入通知書						●発送 (1学期分)				●発送 (2学期分)		●発送 (3学期分)
	督促・催告の実施											
新一年生手続き									利用申込書・口座振替申込書送付、 登録手続			

【主な事業費】

学校教材費等	995,657 千円
(主な内訳)	
消耗品費	551,849 千円
事業・業務委託料	338,660 千円
事務処理等委託料	8,906 千円
口座振替手数料	3,086 千円

【特定財源】

学校教材費等保護者負担金	993,751 千円
--------------	------------

問合せ先	学校教育部 教育総務課長 高田	電話	724-2173
------	-----------------	----	----------

件名	中学校給食センター整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
314,216		0	55,000	226,000	0	33,216

【事業の背景・目的】

2021年1月の町田市学校給食問題協議会答申を受けて2022年3月に策定した「まちだの中学校給食センター計画」に基づき、2025年度までに町田忠生小山エリア、南エリア及び鶴川エリアにそれぞれ給食センターを整備し、中学校の全員給食を実施します。

■まちだの中学校給食センターの目指す姿

中学生たちに美味しい給食を届けることはもちろんのこと、地域の幅広い世代が、食を通して健やかな暮らしを送ることに貢献できる、「食を通じた地域みんなの健康づくり拠点」となることを目指します。

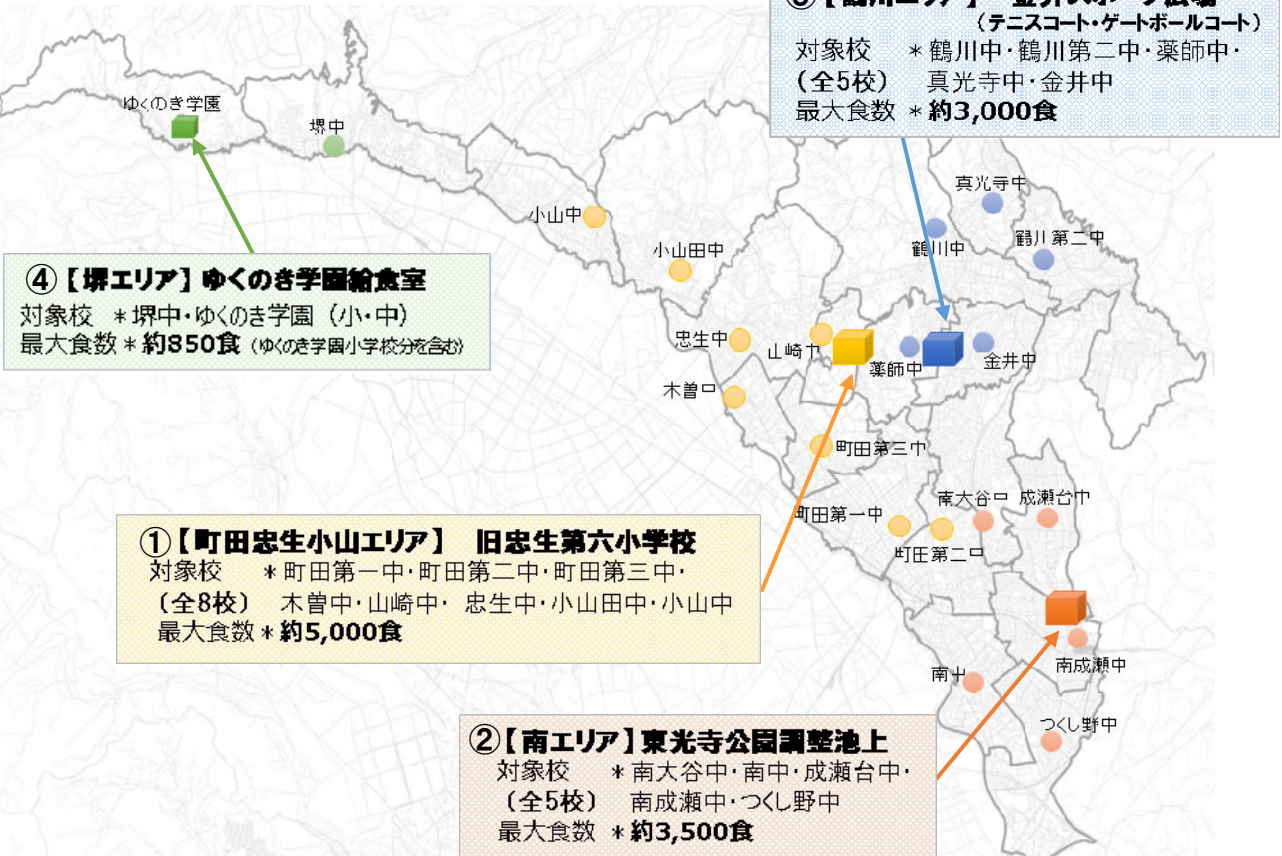
目指す姿① 魅力的で美味しい給食を中学生たちに届けるセンター

（美しく味良く、温もりを感じて四季を愉しむことのできる町田市ならではの学校給食を丁寧につくり届ける）

目指す姿② 地域とつながりあい、新しい価値を生み出しつづけるセンター

（食に関する学びや体験の提供、防災機能向上などに多面的に取り組み、地域の健康増進と地域経済の活性化を図る）

■給食センターの配置と規模



【事業の内容】

3箇所の中学校給食センターの整備を、PFI手法及びリース方式にて進めます。

2023年度は、旧忠生第六小学校の校舎解体工事を完了し、PFI事業者及びリース事業者による施設整備を進めます。合わせて、各中学校の配膳環境の整備及びゆくのき学園給食室の改修設計を進めるとともに、鶴川エリア及び堺エリアの調理運営事業者を選定します。

エリア	①町田忠生小山	②南	③鶴川	④堺
事業手法	PFI手法(BTO方式)	PFI手法(BTO方式)	調理委託型リース方式	ゆくのき学園給食室 で調理し、堺中に 配送
事業期間	2023～2039年度 (稼働後15年間)	2023～2039年度 (稼働後15年間)	2022～2035年度 (稼働後11年間)	

※PFI手法…民間事業者が調達する資金で設計、施工を行い、その後の維持管理や運営もあわせて行う方式

※BTO方式…民間事業者が施設を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う方式

【スケジュール】

	2023年度	2024年度	2025年度
①町田忠生小山	解体工事 設計・建設工事	開業準備	2025年度1学期～ 全員給食開始
②南	設計・建設工事 調整池工事	開業準備	2025年度2学期～ 全員給食開始
③鶴川	設計・建設工事 運営者選定 運営準備	開業準備	2024年度3学期～ 全員給食開始
④堺	改修設計・工事準備 運営者選定 運営準備	改修工事	2024年度2学期～ 全員給食開始
⑤各校	改修工事(7校) 改修設計・工事準備	改修工事(7校)	

【主な事業費】

給食センター整備事業

中学校配膳室等改修工事費 27,618千円

中学校配膳室等・ゆくのき学園給食室改修工事設計委託料 6,017千円

鶴川エリア中学校給食調理配送事業 0千円

(2023～2026年度債務負担行為事業 総事業費 288,776千円)

堺エリア中学校給食調理配送事業 0千円

(2023～2026年度債務負担行為事業 総事業費 140,445千円)

旧忠生第六小学校解体事業

旧忠生第六小学校解体工事費 264,658千円

旧忠生第六小学校解体工事監理業務委託料 10,890千円

(2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費 451,987千円)

【主な特定財源】

学校施設解体事業債 206,000千円

学校施設整備事業債 20,000千円

問合せ先	学校教育部 保健給食課長 押切	電話	724-2177
	施設課長 平川		724-2174

件名	新たな学校づくり推進事業（統合新設・建替え） ～ともに学び、ともに育つ学び舎づくり～					
	予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他
206,001		0	0	71,000	0	135,001

【事業の背景・目的】

少子化と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境を整備するため、2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画（以下、推進計画）」に基づき、「本町田地区」「南成瀬地区」「鶴川東地区」「鶴川西地区」の統合新設小学校（計4校）と、「南第一小学校地区（単独建替え）」の新校舎を整備します。

【事業の内容】

2023年度は、PFI方式による学校整備に向けた事業者公募資料の作成や、従来方式による学校整備に向けた基本・実施設計等を行います。また、検討に着手している5地区に「（仮称）新たな学校づくり推進会」を設置し、2023年2月に策定する地区別の「新たな学校づくり基本計画（以下、基本計画）」に定める取り組みについて、学校、保護者、地域の方々とともに統合・建替えに向けた準備を進めます。

地区	対象校	新校舎建設地	統合年度	新校舎使用開始年度	整備手法
本町田	町田第三小・本町田東小・本町田小	本町田東小	2025・2028 ^{※1}	2028	PFI方式
南成瀬	南第二小・南成瀬小	南第二小	2025	2028	PFI方式
鶴川東	鶴川第二小・鶴川第三小（一部）	鶴川第二小	2026	2029	従来方式
鶴川西	鶴川第四小・鶴川第三小（一部）	鶴川第四小	2026	2029	従来方式（予定）
南第一	南第一小	南第一小	-	2030	PFI方式（予定）

※1 2025年度に本町田東小と本町田小が統合。2028年度に町田第三小が統合。

①「本町田地区」・「南成瀬地区」統合新設小学校 PFI 事業者の公募

2024年度の契約締結に向けて、PFI方式による整備に必要な実施方針、要求水準書等を作成し、PFI事業者を公募します。

②「鶴川東地区」統合新設小学校基本・実施設計

2023年度から2024年度にかけて、統合新設小学校の基本・実施設計を行います。

③「南第一小学校地区」建替えに伴う南中学校への小学校用運動場等整備の設計

南中学校に南第一小学校の仮校舎を建設するために必要な設計を行います。

④（仮称）新たな学校づくり推進会の設置

2023年2月に策定する5地区の基本計画をもとに、学校統合及び新校舎使用開始に向けた準備を進めるため、保護者や学校運営協力者、教職員、地域の代表で構成する「（仮称）新たな学校づくり推進会」を設置します。推進会では、基本計画の各取り組みの進捗状況を確認するほか、「通学の負担軽減・安全対策」「校歌・校章の作成」などを検討します。

⑤広報活動・意見交換会等の実施

未就学児・在校生の保護者、町内会・自治会等に、新たな学校づくり推進事業の内容や検討状況をお知らせするために、広報活動を行います。また、推進計画に基づき、2024年度から検討に着手する2地区（小山田小学校・小山田南小学校区と薬師中学校・金井中学校区）で意見交換会を行います。

【スケジュール】

年度/地区	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
①本町田地区・南成瀬地区	PFI事業者 公募準備・選定	新校舎 設計・建設 (旧校舎解体含む)				新校舎 使用開始	維持管理		
②鶴川東地区	基本・実施設計		仮設校舎 建設	新校舎 設計・建設 (旧校舎解体含む)			新校舎 使用開始	維持管理	
鶴川西地区	基本・実施設計			新校舎 設計・建設 (旧校舎解体含む)			新校舎 使用開始	維持管理	
③南第一小学校地区			PFI事業者 公募準備・選定	新校舎 設計・建設 (旧校舎解体含む)			新校舎 使用開始	維持管理	
南中学校	小学校用 運動場等 整備設計	既存校舎是正設計・工事 仮校舎建設		南一小仮校舎として使用			南四小 仮校舎と して使用		
		運動場等整備工事							

【主な事業費】

- ①「本町田地区・南成瀬地区」統合新設小学校 PFI アドバイザリー業務委託料 16,610 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 41,525 千円)
- ②「鶴川東地区」統合新設小学校基本・実施設計委託料 101,448 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 338,162 千円)
- ③「南第一小学校地区」校舎建替えに伴う小学校用運動場等整備実施設計委託料 7,469 千円
- ④(仮称)新たな学校づくり推進会・意見交換会等 議事録作成委託料 2,759 千円
- ⑤広報活動委託料 7,977 千円

【特定財源】

学校施設整備事業債 71,000 千円



問合せ先	学校教育部 新たな学校づくり推進課長 小宮 施設課長 平川	電話	785-5471 724-2174
------	----------------------------------	----	----------------------

件名	小・中学校増改築事業（エレベーター設置及び35人学級対応）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
363,356		55,779	0	198,000	0	109,577

【事業の背景・目的】

「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の一部改正に伴い、既存学校施設を含めたバリアフリー化の取り組みが求められており、円滑な移動等に配慮が必要な生徒等への対応として、中学校にエレベーターを整備します。設置するエレベーターについては、中学校全員給食の配膳にも利用します。

また、2021年4月「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、小学校の学級編制の標準人数を、2025年度までに段階的に引き下げることになりました。これに伴い、2024年度に1校で普通教室の不足が生じるため、2023年度中に増築棟建設工事を行い、必要な教室の確保を図ります。

【事業の内容】

①エレベーター設置事業

中学校5校で設置工事に着手し、中学校3校で設置工事に向けた実施設計を行います。

②35人学級編制対応事業

2024年度に教室が不足する南つくし野小学校で、少人数教室2室の増築工事と既存校舎の普通教室転用工事を行います。

【スケジュール】

①エレベーター設置事業	2023年度												2024年度							2025年度							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	～	3月	4月	～	8月			
中学校5校	契約 手続		エレベーター設置工事																								
中学校3校	契約 手続		設計・建築確認						契約 手続		エレベーター設置工事																

②35人学級編制対応事業	2023年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
南つくし野小学校 増築棟建設	契約手続		増築棟建設工事									

【主な事業費】

- ①エレベーター設置工事費(5校) 198,755千円
(2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 514,261千円)
- ①エレベーター設置工事実施設計委託料(3校) 19,998千円
- ②増築棟建設工事費(南つくし野小) 99,176千円
- ②増築棟建設工事監理委託料(南つくし野小) 6,325千円

【特定財源】

- ①学校施設環境改善交付金(国 1/2) 29,655千円
- ②公立学校施設整備費負担金(国 1/2) 26,124千円
- ①②学校施設整備事業債 198,000千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 平川	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

件名	高校生等医療費助成事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
213,639		0	213,639	0	0	0

【事業の背景・目的】

東京都が生涯にわたる健康づくりの基礎を培う大切な時期にある高校生等を対象とした医療費助成制度を創設したことを受け、町田市でも、子育て世帯への支援を行うため、都の補助金を活用し「町田市高校生等医療費助成事業」を実施します。

【事業の内容】

対象者	市内に住所を有する高校生等を養育する方(所得要件有り)
対象高校生等	市内に住所を有する高校生等(高校1年生～3年生相当年齢にあたる児童) ※高校に在学していない児童も対象
対象高校生等数見込	9,331人
助成内容	保険診療による医療費の自己負担分を助成 ※通院1回200円の自己負担あり
所得要件	児童手当の所得制限限度額に準拠 ※配偶者+子2人の扶養で、年収960万円未満
事業の始期	2023年4月

【スケジュール】

年度	2022		2023											
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
医療証	申請受付 作成・送付		※締切後も随時受付											
医療費助成	医療費助成(医療機関で医療証を提示して受診)													

【事業費】

高校生等医療費助成費	209,360千円
事務処理等委託料	4,194千円
印刷製本費	72千円
消耗品費	13千円

【特定財源】

高校生等医療費助成事業費補助金(都10/10)	213,639千円
-------------------------	-----------

問合せ先	子ども生活部 子ども総務課長 大坪	電話	724-2139
------	-------------------	----	----------

件名	多摩都市モノレールまちづくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
269,742		0	0	0	1,033	268,709

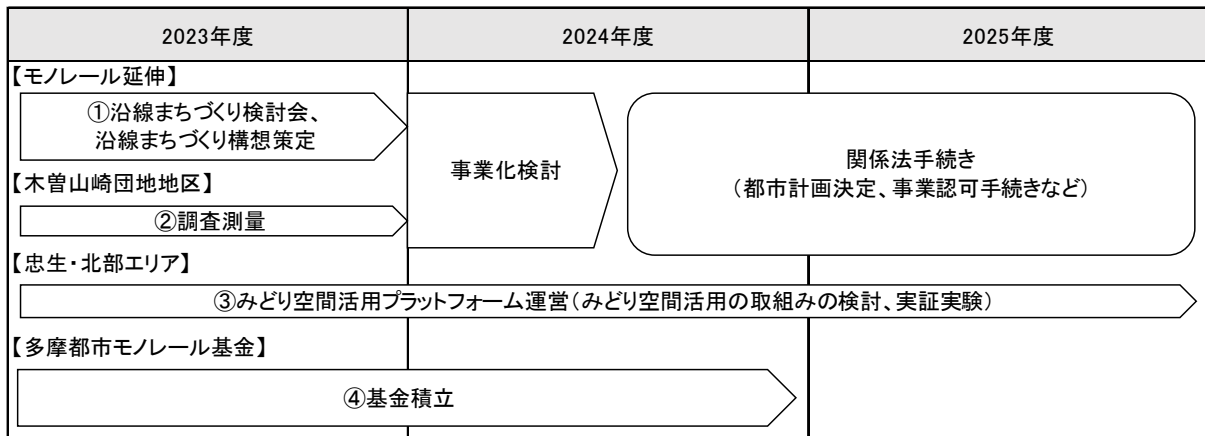
【事業の背景・目的】

多摩都市モノレール町田方面延伸の事業化に向けて、東京都や多摩都市モノレール株式会社との調整を進めるとともに、モノレール延伸の効果を最大限発揮するためのモノレール沿線まちづくりの検討を、多摩市と協働で進めていきます。また、「町田市都市づくりのマスタープラン」で掲げる暮らしとまちのビジョン実現に向けて、モノレール沿線の木曾山崎団地、忠生・北部エリアのまちづくりを具体化していきます。

【事業の内容】

- ① 学識経験者、町田市、多摩市で構成する「多摩都市モノレール町田方面延伸 沿線まちづくり検討会」を実施し、モノレールの需要創出に資する沿線まちづくりの構想を策定します。
- ② モノレール沿線の木曾山崎団地地区では、マスタープランに掲げる「住宅地を多機能化する」ことを目指し、地域交通ネットワーク構築に関する基盤検討に必要な調査測量を行います。
- ③ モノレール沿線の忠生・北部エリアでは、マスタープランに掲げる「みどりと暮らしの関係をつくる」ことを目指して、公園、緑地、農地及び里山などみどり空間を活用するためのプラットフォームの運営と持続化に向けた検討、必要な基盤（体制や財源など）に関する調整を進めます。
- ④ モノレール新駅周辺の基盤整備等に向けて、基金を計画的に積立てます。

【スケジュール】



【主な事業費】

- | | |
|---------------------------|------------|
| ① モノレール沿線まちづくり検討委託料 | 2,500 千円 |
| ② 木曾山崎団地地区調査測量委託料 | 3,500 千円 |
| ③ みどり空間活用プラットフォーム運営等業務委託料 | 5,000 千円 |
| ④ 多摩都市モノレール基金積立金 | 251,033 千円 |

【特定財源】

- | | |
|--------------------|----------|
| ④ 多摩都市モノレール基金積立金利子 | 1,033 千円 |
|--------------------|----------|



問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 柘植野 公園緑地課長 新	電話	724-4077 724-4397
------	---	----	----------------------

件名	中心市街地開発推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
30,924		0	0	0	0	30,924

【事業の背景・目的】

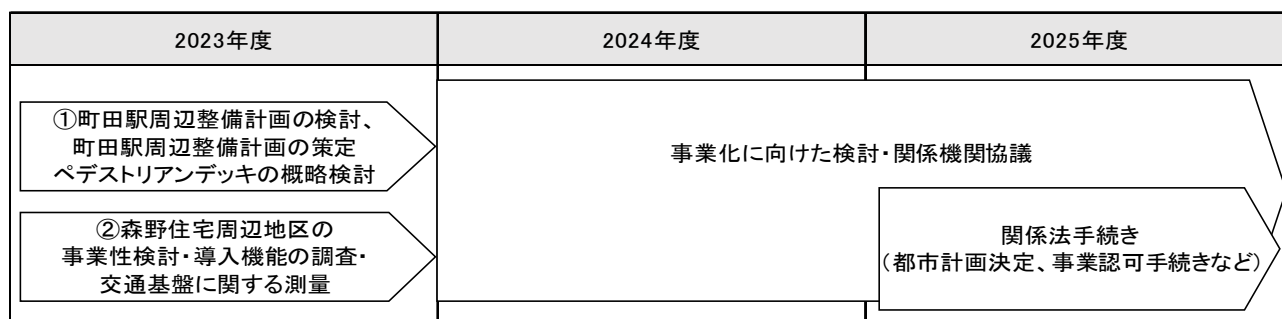
中心市街地がこれから先、周辺都市に埋没せず選ばれ続けるため、2016年7月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」や2022年3月に策定した「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づく取組を具現化し、個性ある店舗や魅力あふれる商店街などの今ある町田らしい資源を活かしながら、多様な魅力を持つまちへと転換していく必要があります。

そのために、多摩都市モノレールの新たな起終点となることも踏まえ、老朽化した駅周辺施設の更新や駅の近くにも関わらず土地の高度利用ができていないエリアの活用、快適な乗換動線の確保、まちなかとの回遊性の向上、居心地の良い駅前空間づくりなどの実現を目指し、中心市街地の開発を推進していきます。

【事業の内容】

- ① 町田駅に近接する街区の都市機能の更新や、交通ターミナル機能の集約、ペDESTリアンデッキなど歩行者空間の整備といった交通基盤の強化に向けて、学識経験者やまちづくりの関係者、事業者などの意見を伺いながら、町田駅周辺開発の共通指針となる「町田駅周辺整備計画」の策定を目指します。
- ② 森野住宅周辺地区のまちづくりを具体化させるため、2022年12月に策定した「森野住宅周辺地区まちづくり構想」でめざすまちの姿の実現に向けて、事業性検討や導入機能の調査、交通基盤に関する測量を行います。

【スケジュール】



【主な事業費】

- ①町田駅周辺整備計画策定支援委託料 10,000 千円
- ①ペDESTリアンデッキ概略検討委託料 4,500 千円
- ②森野住宅周辺地区事業性検討委託料 9,000 千円
- ②森野住宅周辺地区導入機能検討調査委託料 4,500 千円
- ②森野住宅周辺地区交通基盤調査測量委託料 2,250 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
------	--------------------	----	----------

件名	小田急多摩線延伸促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,500		0	0	0	0	8,500

【事業の背景・目的】

小田急多摩線の唐木田駅から上溝駅への延伸については、2016年4月に国土交通省の交通政策審議会の答申において、『「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされました。本事業が実現すると、首都圏南西部の交通ネットワークの拡充が図られ、地域の交通利便性が飛躍的に向上します。さらに、まちづくりの促進や地域経済・産業、住民間交流の活性化に大きく寄与します。

町田市及び相模原市をはじめとする関係者で構成する「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」においては、現在、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向けた検討を行っています。

【事業の内容】

2022年度に引き続き、延伸の早期実現を目指して、答申で示された収支採算性等の課題の解決に向け、関係機関との調整・協議を進めるとともに、相模原市と共同でハード面の調査検討や需要予測の試算等、必要な調査検討等を実施します。



【事業費】

小田急多摩線共同調査負担金 8,500 千円

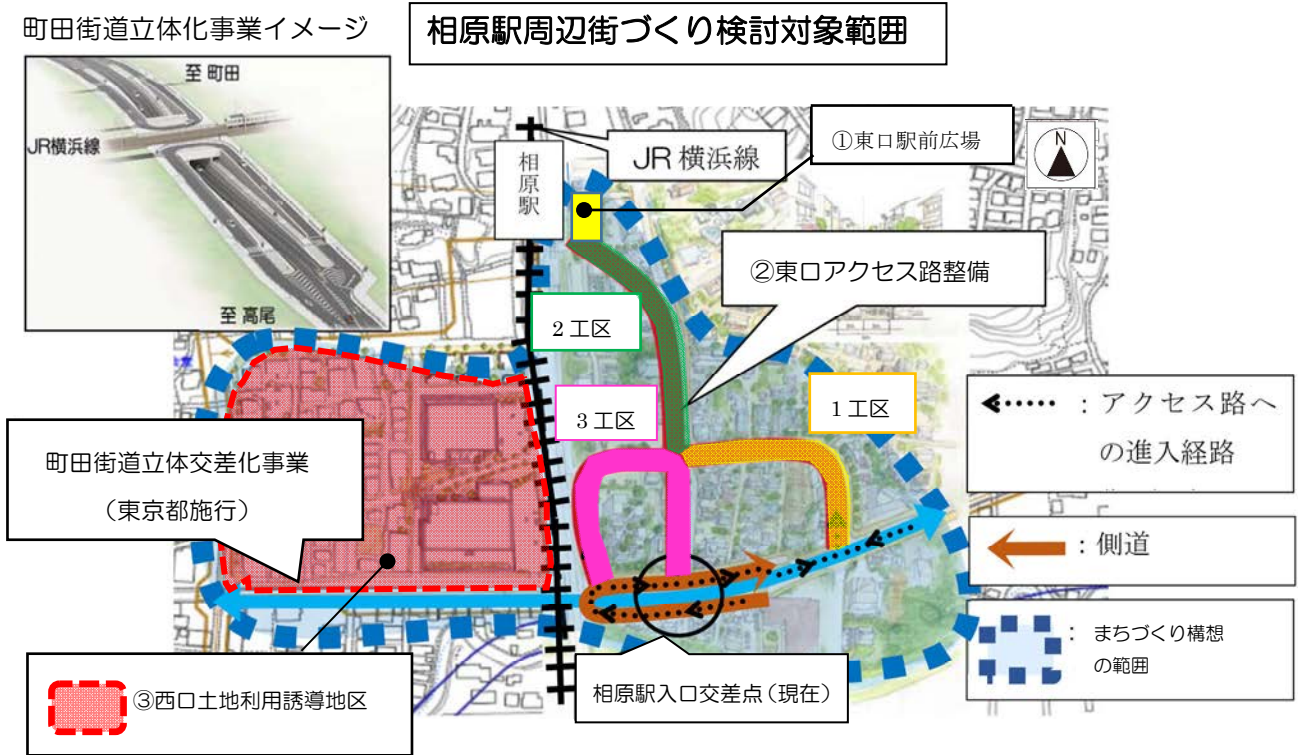
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 北川	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件名	相原駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
736,210		0	313,300	344,000	0	78,910

【事業の背景・目的】

相原駅に隣接するJR横浜線の大戸踏切については、東京都が町田街道立体化事業を進めており、駅東口においては、町田街道から東口駅前広場への新たなアクセス路の整備等が必要となっています。また、「町田市都市づくりのマスタープラン」においては、相原駅周辺を地域の生活を支える「生活拠点」に位置付け、市内外の人が集い、自然や歴史・文化に触れながら学び楽しめる拠点を目指すこととしています。

この実現を図るため、市では、地域の方々とともに2014年に「町田市相原駅西口まちづくり構想」を、2020年に「町田市相原駅東口まちづくり構想」を策定し、生活拠点の形成に向けたまちづくりを進めています。



【事業の内容】

- ① 東口駅前広場に接する地権者や関係者と駅前街区の再編整備に向けた協議を進めます。また、東口駅前広場の予備設計及び地質調査を行います。
- ② 町田街道から駅東口への新たなアクセス路の整備(用地取得等)を進めます。
- ③ 西口土地利用誘導地区の地権者や関係者の意向確認を行い、土地利用に関する勉強会を実施します。

【スケジュール】

	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年	2027 年度以降
①東口駅前街区	整備手法検討		駅前広場・駅前街区再編整備		
	駅前広場予備設計・地質調査	駅前広場詳細設計			
②東口アクセス路	用地取得(1工区)	整備工事(1工区)			
	用地取得(2・3工区)		整備工事(2・3工区)		
③西口土地利用誘導地区	勉強会・地権者検討会		事業手法の深度化	事業計画案の作成	都市計画変更・事業計画決定

【主な事業費】

①③ 街づくり支援委託料	4,500 千円
① 設計委託料(駅前広場)	6,057 千円
① 調査等委託料(駅前広場地質調査)	5,573 千円
② アクセス路物件等補償料	554,111 千円
② アクセス路用地購入費	148,628 千円

【特定財源】

② 道路橋梁費補助金(都 1/2)	313,300 千円
② 道路整備事業債	344,000 千円

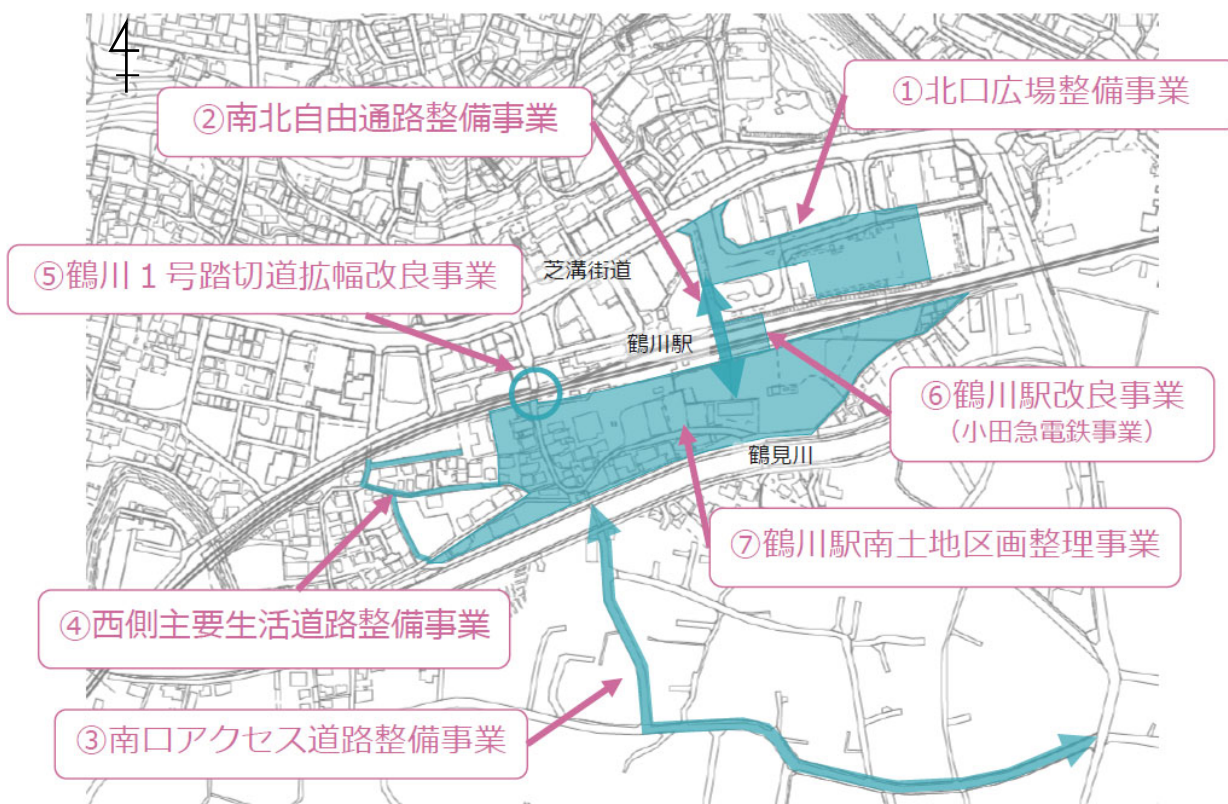
問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
	道路部 道路整備課長 市川		724-1122

件名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）		国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：1,258,311	財源内訳	105,407	380,933	505,000	0	266,971
特別会計：434,064		3,000	3,000	30,000	0	398,064

【事業の背景・目的】

鶴川駅周辺は、2016 年度に策定した「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、道路や駅前広場などの再編により、安全で便利な交通結節機能を向上させ、商業施設や文化交流施設、住宅などが集積した賑わいある都市拠点を目指すこととしています。2023 年度は、北口広場、南北自由通路、土地区画整理事業等の都市基盤整備を推進します。

・事業実施場所



○一般会計

【事業の内容】

- ① 北口広場整備事業(2020 年度 11 月事業認可取得)は、2022 年度に引き続き広場の整備工事及びバスシェルターの設置工事を行います。
- ② 南北自由通路整備事業(2022 年度 8 月事業認可取得)は、事業用地の取得及び小田急電鉄(株)に委託し、支障移設や工事に必要な通路等の仮設工事を行います。
- ③ 南口アクセス道路整備事業は、用地取得及び整備工事に着手します。
- ④ 西側主要生活道路整備事業は、地権者との協議を経て用地測量や予備設計を行います。
- ⑤ 鶴川1号踏切道拡幅改良事業は、2022 年度に引き続き小田急電鉄(株)に委託し、整備工事を行います。
- ⑥ 鶴川駅改良事業(事業者・小田急電鉄)は、工事に必要な通路等の仮設工事を実施するため、小田急電鉄へ補助金を支出します。

【スケジュール】

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
①北口広場整備事業	整備工事（2024年度仮使用開始）					★ 使用開始
②南北自由通路整備事業	事業認可取得	整備工事（支障移設・仮設工事含む）				★ 使用開始
		用地取得				
③南口アクセス道路整備事業	用地測量		用地取得			
	詳細設計				整備工事	
④西側主要生活道路整備事業	意向調査	予備設計 用地測量	詳細設計	用地取得		整備工事
⑤鶴川1号踏切道拡幅改良事業	関係者協議	拡幅工事				
⑥鶴川駅改良事業	関係者協議	整備工事（支障移設・仮設工事含む）				★ 橋上駅舎 使用開始

【主な事業費】

- ① 北口広場整備工事費 285,748 千円
- ② 整備等負担金(支障移設) 205,567 千円
(2023～2028年度債務負担行為事業 総事業費 3,336,012 千円)
- ③ 南口アクセス道路用地購入費 156,136 千円
- ③ 南口アクセス道路物件移転補償費 105,000 千円
- ③ 南口アクセス道路工事費 4,603 千円
- ④ 西側主要生活道路用地測量委託料 8,380 千円
- ④ 西側主要生活道路予備設計委託料 2,943 千円
- ⑤ 整備等負担金(整備工事) 220,000 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 395,373 千円)
- ⑥ 鶴川駅改良補助金 13,899 千円
(2023～2028年度債務負担行為事業 総事業費 2,298,868 千円)

【主な特定財源】

- ① 防災・安全交付金(国 1/2) 27,586 千円
- ① 地域福祉推進包括補助事業費補助金(都 1/2) 60,000 千円
- ①② 都市計画費補助金(都 1/4) 41,003 千円
- ② 防災・安全交付金(国 1/2) 54,421 千円
- ③ 道路橋梁費補助金(都 1/2) 117,510 千円
- ⑤ 道路橋梁費補助金(都 1/2) 99,720 千円

○特別会計

【事業の内容】

⑦ 鶴川駅南土地区画整理事業(2019 年度 3 月事業認可取得)は、地権者協議、建物等移転、整備工事を行います。

【スケジュール】

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
⑦ 鶴川駅南土地 区画整理事業	換地設計 用途地域変更等	地権者協議	建物等移転・整備工事			

【主な事業費】

⑦ 鶴川駅南土地区画整理事業

土地区画整理事業委託料 406,693 千円

(2020～2031 年度債務負担行為事業 総事業費 5,653,845 千円)

【特定財源】

⑦ 社会資本整備総合交付金(国 1/2) 3,000 千円

⑦ 都市再生土地区画整理補助金(都) 3,000 千円

⑦ 都市計画事業債 30,000 千円



【鶴川駅南土地区画整理事業イメージ図】

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 荒木	電話	724-4214
	道路部 道路整備課長 市川		724-1122

件名		野津田公園スポーツの森整備事業																																			
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																															
257,883			0	22,000	142,000	21,630	72,253																														
<p>【事業の背景・目的】</p> <p>「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指した「第二次野津田公園整備基本計画(2014年度策定)」に基づき、競技スポーツから健康スポーツまで幅広い活動やみどりを活かした自然のふれあい活動、さらには多様なレクリエーションが楽しめる公園づくりを推進してきました。</p> <p>今後はさらに、総合公園にふさわしい、子どもの遊び場を含むパークセンターゾーンの整備に着手し、着実に整備を進めることで、「多世代の交流が広がる公園づくり」や「自然とのふれあい活動が楽しめる公園づくり」を推進して、スポーツ利用だけでなく、市民の交流やふれあい活動の場となる公園を目指します。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>① ふるさと納税でいただいた寄附を活用し、町田GIONスタジアムの照明をLED化することで、アスリートや観戦・応援する人にとってより良い試合環境の確保と施設の省エネルギー化を図ります。</p> <p>② パークセンターゾーンのうち、スケートパークの基本設計を行います。</p> <p>【スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">2023年度</th> <th rowspan="2">2024年度</th> <th rowspan="2">2025年度</th> <th rowspan="2">2026年度</th> <th rowspan="2">2027年度</th> </tr> <tr> <th>4-6月</th> <th>7-9月</th> <th>10-12月</th> <th>1-3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①町田GIONスタジアム改修(照明)</td> <td colspan="2">実施設計</td> <td></td> <td>改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②パークセンターゾーンスケートパーク整備</td> <td colspan="4">基本設計</td> <td>実施設計</td> <td>整備工事</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な事業費】</p> <p>① 町田GIONスタジアム照明LED化改修工事 186,640 千円 (2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 466,598 千円)</p> <p>② パークセンターゾーン(スケートパーク) 9,906 千円 基本設計業務委託料</p> <p>② パークセンターゾーン(スケートパーク) 9,081 千円 測量業務委託料</p> <p>調査委託料(自然環境調査、猛禽類調査) 15,000 千円</p> <p>【主な特定財源】</p> <p>① 都市計画事業債 142,000 千円</p> <p>① まちだ未来づくり基金繰入金 21,630 千円</p>								2023年度				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	①町田GIONスタジアム改修(照明)	実施設計			改修工事					②パークセンターゾーンスケートパーク整備	基本設計				実施設計	整備工事		
	2023年度				2024年度	2025年度		2026年度	2027年度																												
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月																																	
①町田GIONスタジアム改修(照明)	実施設計			改修工事																																	
②パークセンターゾーンスケートパーク整備	基本設計				実施設計	整備工事																															
問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新			電話	724-4397																																

件名	忠生スポーツ公園整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
222,519		58,000	26,100	78,000	420	59,999

【事業の背景・目的】

「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想(2017年度策定)」において、「さまざまな世代が憩い、体力づくりもできる広場」をコンセプトとし、子どもから高齢者までスポーツを楽しみながら体力づくりができる空間として、最終処分場等上部を利用した公園整備を段階的に進めています。

先行して整備を進めている池の辺地区では、子どもが自由に遊べる広場やバスケットボール等のスポーツもできる多目的広場を整備し、多世代が集える場として活用を図ります。今後、整備を行う峠谷地区と旧埋立地においては、散策や複数のスポーツが楽しめる場等の活用の検討を行います。

【事業の内容】

- ① 2023年9月の開園に向けて、池の辺地区の多目的芝生広場等の整備を進めます。
- ② 峠谷地区と旧埋立地の活用に向け、安全に利用できる形で閉鎖手続きを行うための方法を検討する安全検討会を行います。
- ③ 峠谷地区と旧埋立地の活用に向け、「町田市バイオエネルギーセンター周辺施設整備基本計画」の策定を行います。(策定内容:整備施設の機能及び配置、整備スケジュール、整備概算事業費等)

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
① 公園	【池の辺地区】●開園予定 整備工事 (9月)						【峠谷地区】 基本設計・実施設計	
② 処分場	【峠谷地区・旧埋立地】 安全検討会				安全対策 工事 概略設計	安全対策 工事 詳細設計	安全対策工事 (～2028年度)	
③ 全体計画	町田市バイオエネルギーセンター 周辺施設整備基本計画策定 ★ ★ ★ ★ 忠生地区ごみの資源化施設周辺地域 整備推進検討委員会 4回開催予定				町田市バイオエネルギーセンター 周辺施設整備基本計画推進			

【主な事業費】

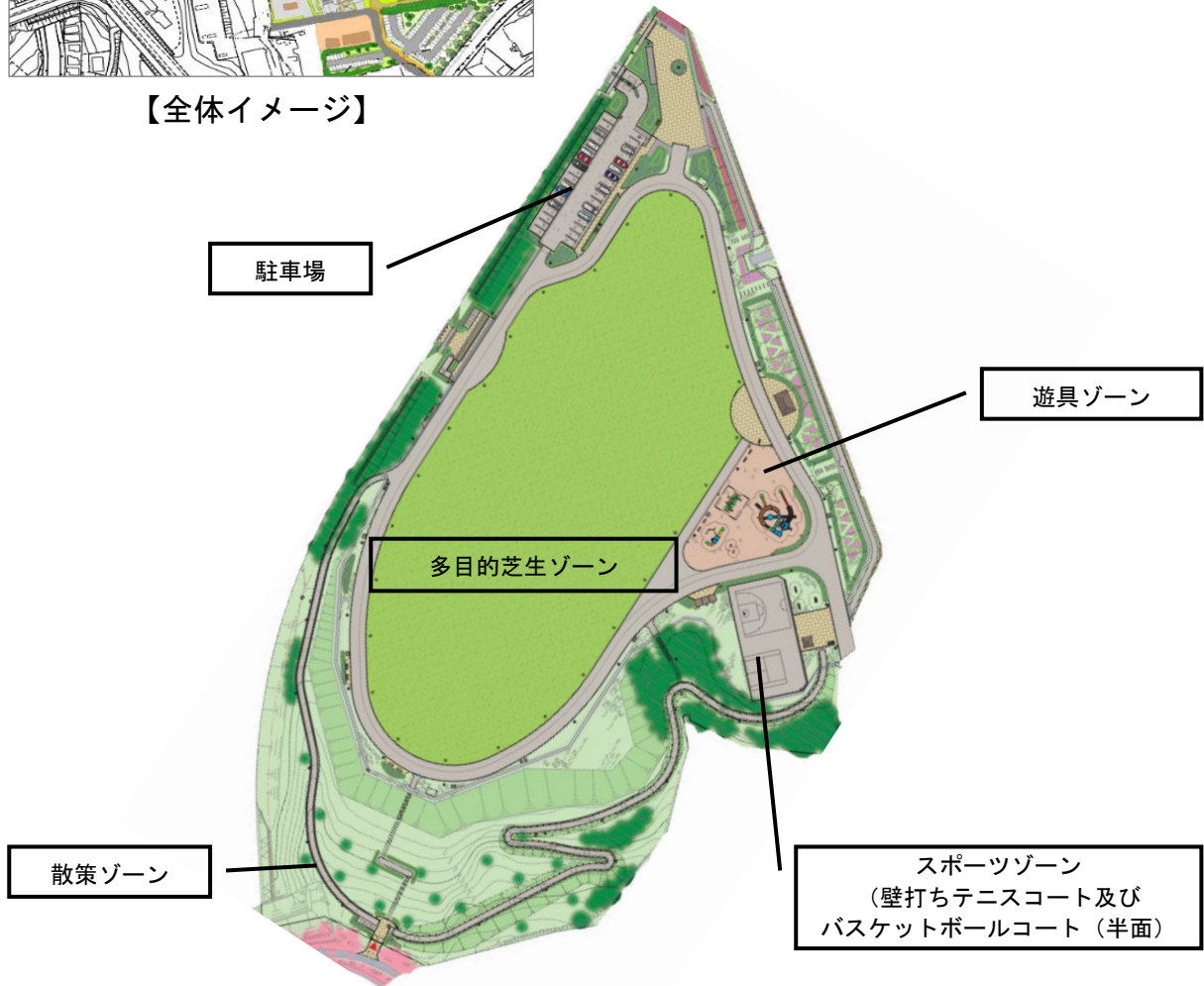
- ① 整備工事費(池の辺地区) 183,484 千円
(2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費 436,381 千円)
- ① 建築施設工事監理業務委託料(池の辺地区) 500 千円
- ② 適正化検討業務委託料(安全検討会)(峠谷地区・旧埋立地) 20,130 千円
(2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費 20,130 千円)
- ③ 基本計画作成委託料(全体) 9,405 千円

【特定財源】

① 社会資本整備総合交付金(国 1/2)	58,000 千円
① 都市計画費補助金(都 1/4)	26,100 千円
① 都市計画事業債	78,000 千円
① まちだ未来づくり基金繰入金	420 千円



【全体イメージ】



【池の辺地区整備イメージ】

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	環境資源部 環境政策課長 塩澤		785-5479
	環境資源部 循環型施設管理課長 林		797-2732

件名	スポーツをする場の環境整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
56,500			0	0	0	0

【事業の背景・目的】

「町田市スポーツ推進計画 19-28」に基づき、市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、調整池等の活用を図り、スポーツができる公園等として整備し、効果的・効率的な施設管理及び運営を行います。

また、2013 年度に策定した「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」において、健康増進関連拠点として位置づけている旧忠生第六小学校用地に、「(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ」を整備します。本事業の実施にあたっては、木曽山崎団地地区の新たな価値と魅力を実現する場として、食の健康づくり拠点となる中学校給食センターと連携した、運動の健康づくり拠点の形成を目指します。

【事業の内容】

①公園内スポーツ施設整備

2022 年度に整備工事が完了した小山上沼公園スポーツ施設については、2023 年 4 月に市民利用を開始します。また、本町田後田公園スポーツ施設、金森調節池上部スポーツ施設については、公の施設として活用するために必要な施設整備を行います。

対象施設	予定地・面積	整備内容
小山上沼公園 スポーツ施設	・小山ヶ丘 3 丁目 1-1 ・3,150 ㎡(一次調整池を含まない)	グラウンド、バスケットゴール(1 基)、 壁打ちテニス、夜間照明など
本町田後田公園 スポーツ施設	・本町田 2340-1 ・19,062 ㎡	広場、法面など
金森調節池上部 スポーツ施設	・金森 6 丁目 1407 ・約 15,000 ㎡	多目的グラウンド、広場、駐車場、 トイレなど

【小山上沼公園スポーツ施設イメージ】



【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
小山上沼公園 スポーツ施設	●4月供用開始	台帳作成					
本町田後田公園 スポーツ施設	●4月 グラウンド外一部供用開始	実施設計			法面・広場 整備工事	●全面開園 (4月予定)	
金森調節池上部 スポーツ施設		基本設計			実施設計	整備工事	●開園 (4月予定)

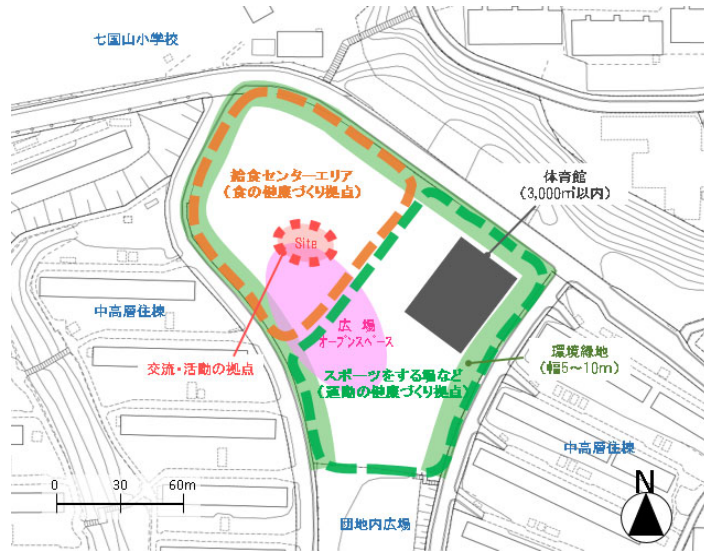
②(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備

「木曽山崎団地地区まちづくり構想」に基づく健康増進関連拠点整備の一環として、若者から高齢者まで、幅広い世代がスポーツ推進による健康づくりを行えるよう、2026年度の供用開始を目指して体育館等を整備します。

また、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーである、パラバドミントンやブラインドサッカー等のパラスポーツの振興及び普及啓発を施設のコンセプトに掲げ、市民誰もがスポーツを「する」「みる」ことができる施設づくりを目指します。

2023年度は、PFI事業者の公募に向けて、専門性の高いコンサルティング業者に委託し、整備方針の検討(PFI手法導入可能性調査含む)から最適な事業手法を決定し、要求水準書の作成等を行います。

【健康増進関連拠点としての活用イメージ】



【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ	コンサルティング業者選定	整備方針検討 (PFI手法導入可能性調査含む) 要求水準書作成			PFI事業者公募・選定	設計・整備工事	運営維持管理 ● 供用開始

【主な事業費】

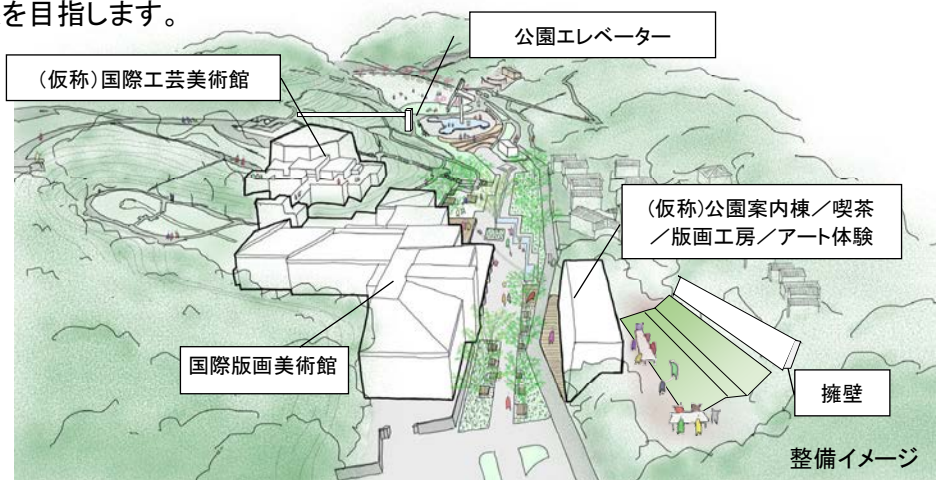
- ①本町田後田公園スポーツ施設
 - 広場基本・実施設計委託料 15,000 千円
 - 法面実施設計委託料 3,500 千円
- ①金森調節池上部スポーツ施設基本設計委託料 6,500 千円
- ①小山上沼公園スポーツ施設台帳作成委託料 2,000 千円
- ②(仮称)町田木曽山崎パラアリーナ整備方針検討等委託料 22,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 高梨		724-4036

件名		芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
833,542			0	211,000	530,000	1,139

【事業の背景・目的】

中心市街地に隣接する緑豊かな都市公園である芹ヶ谷公園に、(仮称)国際工芸美術館、国際版画美術館、(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟を整備することで、美術館での鑑賞だけでなく、町田の多様な文化芸術の活動、公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」を整備します。公園の価値と資源を活かし、「子ども」と「体験」という新しい視点の取組みも含めて、魅力的な企画やイベントが、緑あふれる公園やまちなかと一体となって展開される状態を目指します。

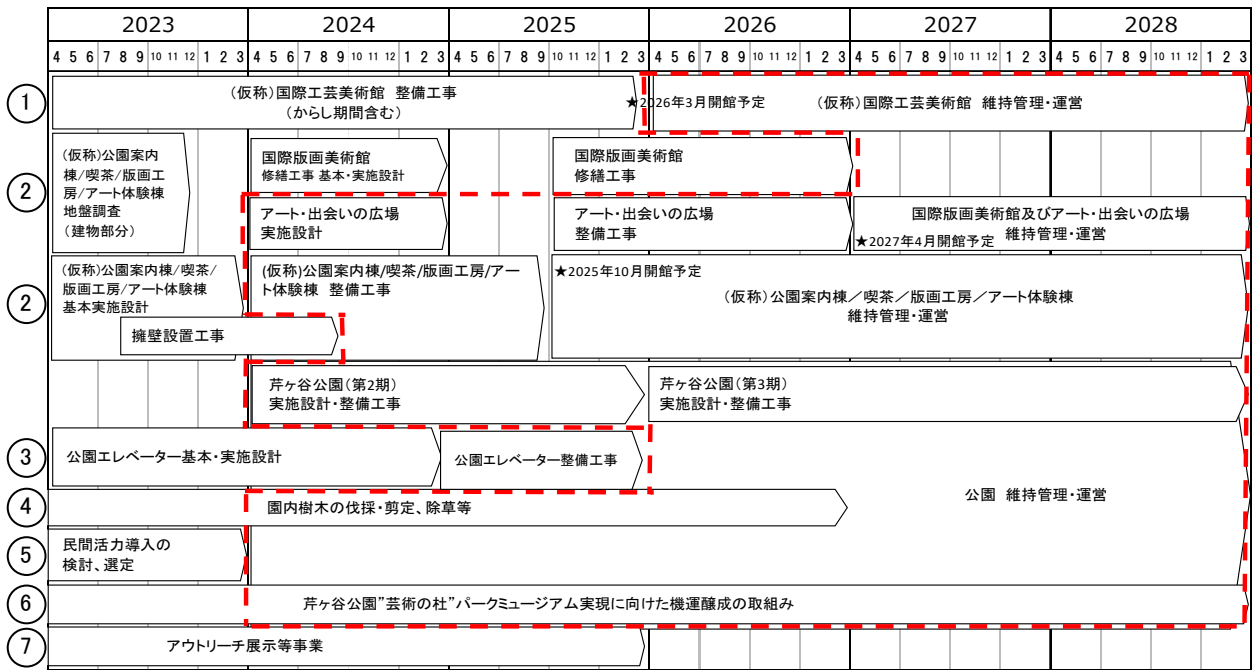


【事業の内容】

①(仮称)国際工芸美術館整備	国内有数のガラスと陶磁器のコレクションをより多くの方に鑑賞いただくため、(仮称)国際工芸美術館を整備します。国際版画美術館と互いの特徴や個性を活かした一体的な企画運営を目指します。
②(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工芸/アート体験棟整備	パークミュージアムの玄関口として、子どもから大人まで、「アート」の楽しさ、「創造」の喜び、「滞在」の心地よさを体験できる施設の設計を進めます。
③公園エレベーター整備	公園内の高低差の解消を目指して、自転車も乗り入れることができる公園エレベーターを整備します。
④芹ヶ谷公園魅力向上推進事業	樹林の適切な伐採・剪定及び除草等を行い、林相を整え、公園内の安全性の確保や自然に親しめる空間を形成することで、芹ヶ谷公園のさらなる魅力向上を目指します。
⑤民間活力導入の検討・選定事業	民間事業者の経験・技術力・ノウハウを活用し、中長期的な視点で市民と一緒に美術館と公園を育てる事業推進体制を整えるため、整備・運営事業者を選定します。2024年度以降は、パークミュージアム全体の維持管理や一部整備等を民間事業者が実施し、事業コストの削減と、より質の高い公共サービスの提供を目指します。
⑥パークミュージアム機運醸成事業	芹ヶ谷公園“芸術の杜”のコンセプトである「町田の文化と自然に出会えるパークミュージアム」を実現するため、市民や「Made_in_Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」でつながった方々と一緒に、芹ヶ谷公園がより愛される公園となるように育て、盛り上げていく取り組みを進めます。
⑦アウトリーチ事業	子どもも大人も楽しめる、ガラスや陶磁器の制作体験や、イベント会場でのPR、作品の展示などを実施します。

【スケジュール】

...民間活力導入の範囲



【主な事業費】

- ①(仮称)国際工芸美術館整備工事費
 (2023～2025 年度債務負担行為事業 総事業費 3,333,883 千円) 658,965 千円
- ①②芹ヶ谷公園自然環境調査業務委託料 1,540 千円
- ②(仮称)公園案内棟/喫茶/版画工房/アート体験棟
 擁壁設置工事費 48,000 千円
 (2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 120,000 千円)
 基本・実施設計業務委託料 42,982 千円
 擁壁設計業務委託料 4,671 千円
 (2022～2023 年度債務負担行為事業 総事業費 68,074 千円)
- ③公園エレベーター棟整備基本・実施設計業務委託料 15,015 千円
 (2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 50,050 千円)
- ④樹木適正配置委託料 21,000 千円
- ⑤芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム民間活力導入アドバイザー業務委託料 12,870 千円
 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム整備・運営事業委託料 0 千円
 (2023～2038 年度債務負担行為事業 総事業費 10,341,270 千円)
- ⑥パークミュージアム推進事業業務委託料 10,000 千円
- ⑦アウトリーチ関連事業費 5,105 千円

【主な特定財源】

- ①文化施設整備事業債 494,000 千円
- ②子ども・長寿・居場所包括補助事業費補助金(都 10/10) 50,000 千円
- ②都市計画事業債 36,000 千円

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課パークミュージアム担当課長 戸田 文化振興課長 本吉 都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-2184 724-4397
------	---	----	----------------------

件名	町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
95,581		20,000	10,000	28,000	8,193	29,388

【事業の背景・目的】

町田薬師池公園四季彩の杜は、市内外からたくさんの方々が訪れる豊かな自然環境や歴史的資源を有する魅力的なエリアです。2023 年度に策定予定の「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」の検討状況を踏まえ、このエリアに何度も訪れていただけるように、各施設の整備・改修を進め、充実を図ります。

【事業の内容】

- ① リス園をさらに魅力的な施設にリニューアルするために、基本計画を策定します。また、障がいのある方が働く場としても安全維持が必要なため、改修工事を行います。
- ② 北園は、景観作物エリアや新たな体験空間の拡充を目指して、用地取得を行います。

【スケジュール】

年度	2023				2024	2025	2026	2027
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月				
全体計画	「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画～Ver.2～」の推進							
①リス園	基本計画				都市計画決定	基本設計	実施設計 用地取得	
	用地測量				安全維持 一部改修			
②北園	用地取得				基本設計	実施設計	整備工事	

【主な事業費】

- ① リス園基本計画策定支援委託料 3,871 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 7,871 千円)
- ① 改修工事費(リス園ほか) 1,000 千円
- ② 用地購入費(北園) 62,256 千円

【主な特定財源】

- ② 社会資本整備総合交付金(国 1/3) 20,000 千円
- ② 都市計画費補助金(都 1/3) 10,000 千円
- ② 緑地保全基金繰入金 4,256 千円

問合せ先	経済観光部 観光まちづくり課長 老沼	電話	724-2128
	地域福祉部 障がい福祉課長 金子		724-2147
	都市づくり部 公園緑地課長 新		724-4397

件名	香山緑地整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
86,258		0	0	61,000	0	25,258

【事業の背景・目的】

香山緑地を、鶴川駅周辺の市街地に残された貴重な緑として保全し、都市景観の向上及び町田市観光拠点の一つとするため、池泉回遊式庭園と存在感のある書院造の建物を活かした緑地として整備します。

周辺観光施設と連携を図り、施設の魅力的な運営を行うことで、鶴川地域への来訪者の増加と、地域住民の交流の場を提供することを目指します。



香山緑地

【事業の内容】

- ① 2025年1月の開園に向けて、指定管理者を選定します。
- ② 2022年度に引き続き、既存建物の耐震・改修工事を行うとともに、トイレ棟、厨房棟を増築します。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
① 管理・運営	指定管理者選定 ●公募 (6月) ●選定 (12月)			運営準備				●開園 (1月予定)
② 整備	既存建物耐震・改修工事							
						庭園工事		

(凡例) 指定管理者主体

【主な事業費】

- ②既存建物耐震・改修工事費 76,086 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 380,429 千円)
- ②工事監理委託料 6,104 千円
(2022～2024年度債務負担行為事業 総事業費 12,209 千円)

【特定財源】

- ②都市計画事業債 61,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	(仮称) 蓮田緑地整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
314,056		55,800	61,700	153,000	9,864	33,692

【事業の背景・目的】

蓮田緑地は、鶴見川流域の里山の風情が残る風光明媚な場所であり、2023年4月に駐車場エリアをプレオープンします。小山田神社周辺に広がる大賀蓮の魅力を活かし、自然と水辺に親しめる憩いの場として誰もが快適に過ごせる観光名所・地域資源となるように公園緑地として整備します。



【事業の内容】

2025年4月の開園に向けて、用地取得及び整備工事を行います。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月		
管理・運営	プレオープン					●開園(4月予定)
用地取得	用地取得					
緑地整備		整備工事				
	施設新築基本・実施設計					

【主な事業費】

用地購入費	110,935 千円
整備工事費	183,200 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業 総事業費 458,000 千円)	
施設新築基本・実施設計業務委託料(休憩棟)	5,490 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/3・1/2)	55,800 千円
生産緑地買取事業費補助金(都 1/3)	28,800 千円
市町村総合交付金(都)	22,000 千円
都市計画費補助金(都 1/3・1/4)	10,900 千円
都市計画事業債	153,000 千円
緑地保全基金繰入金	9,864 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	(仮称) 大戸広場整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
304,609		0	61,000	166,000	59,271	18,338

【事業の背景・目的】

相原地区の資源ごみ処理施設整備に伴う周辺の環境整備を促進するため、「(仮称)大戸広場基本計画(2021年度策定)」に基づき、既存の緑地を活かしながら、地域交流を深める憩いの場として(仮称)大戸広場を整備します。

【事業の内容】

2026年4月の開園を目指して、用地を取得するとともに、整備に係る実施設計及び地質調査等を行います。

【スケジュール】

	2023年度				2024年度	2025年度	2026年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月			
(仮称) 大戸広場 整備	入札 手続	実施設計			整備工事		
		地質調査			建築施設 設計業務	建築工事	工事監理
用地取得				●開園 (4月予定)			



(仮称)大戸広場イメージ図

【主な事業費】

用地購入費	252,525 千円
実施設計業務委託料	31,758 千円
物件等補償料	10,746 千円
地質調査業務委託料	5,580 千円

【特定財源】

都市計画費補助金(都 1/2)	61,000 千円
都市計画事業債	166,000 千円
緑地保全基金繰入金	59,271 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

件名	忠生 630 号線・忠生 579 号線整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
333,835		0	61,950	222,000	0	49,885

【事業の背景・目的】

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路を補完する準幹線道路を整備します。

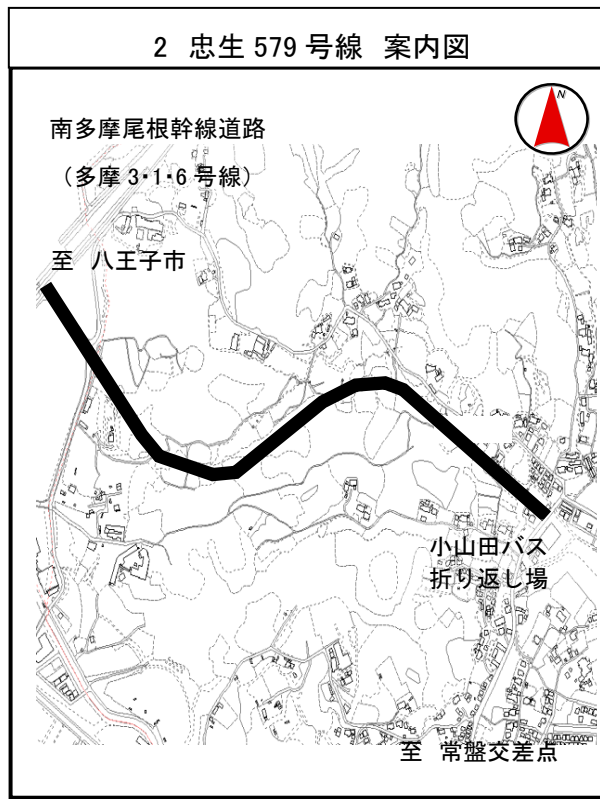
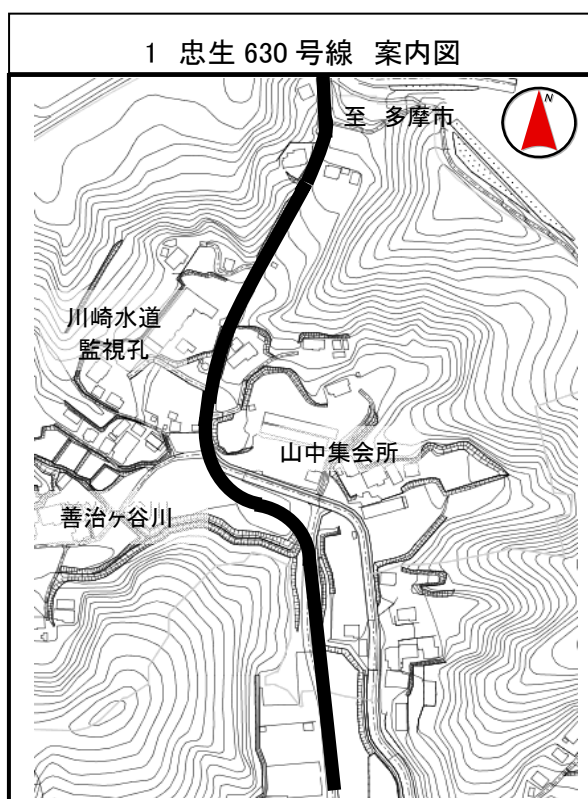
【事業の内容】

1 忠生 630 号線(事業延長 650m)

公共交通機関の充実や増加する交通量への対応及び安全性向上などを図るため、2023 年度末の開通を目指して拡幅整備を行います。

2 忠生 579 号線(事業延長 1,300m)

北部丘陵地域に位置する小山田地区の交通利便性、安全性及び生活環境の向上を図るため整備します。



【主な事業費】

- 1 道路改良工事費 226,000 千円
(2022～2023 年度債務負担行為事業
総事業費 450,000 千円)
- 1 接続部工事費 60,000 千円
- 2 予備設計委託料 8,970 千円

【主な特定財源】

- 1 道路橋梁費補助金（都 1/2） 53,100 千円
- 1 道路整備事業債 209,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名	都市計画道路築造事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,955,428		105,407	291,553	620,000	703,975	234,493

【事業の背景・目的】

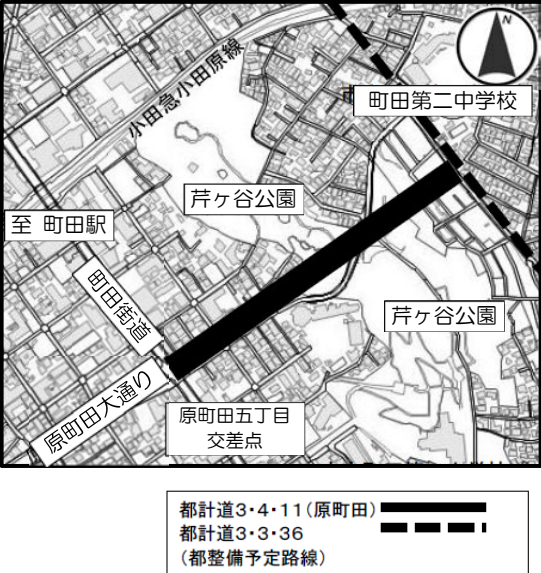
円滑に移動できる道路ネットワークを構築するため、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」で選定された道路や、東京都と連携・協力して整備を行う「第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業」に採択された都市計画道路の整備を進めます。

また、鶴川駅周辺再整備基本方針に基づき、鶴川駅北口広場及び鶴川駅南北自由通路の整備を進めます。

全体図

単位：千円

箇所番号	事業箇所	事業費	事業内容
①	都計道3・3・7(成瀬) 【成瀬街道】	305,188	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 成瀬コミュニティセンター前交差点付近の整備を行います。2023年度は用地取得等を行います。
②	都計道3・4・11(原町田) 【原町田大通り】	180,290	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 町田街道の原町田五丁目交差点から都計道3・3・36号までの整備を行います。2023年度は物件調査、景観設計等を行います。
③	都計道3・4・22(小野路) 【大蔵小野路線】	251,717	【第3次みちづくり・まちづくりパートナー事業】 小野路交差点付近の整備を行います。2023年度は用地取得及び道路・橋梁・電線共同溝の詳細設計等を行います。
④	都計道3・4・41(小山) 【多摩ニュータウン通り】	453,183	小山町と相模原市を繋ぐ橋梁(多摩ニュータウン通り延伸部)整備を行います。2023年度は橋梁工事(相模原市施行)及び交差点改良工事(町田市施行)を行います。
⑤	都計道3・4・49(相原町) 【相原南北通り】	86,500	相原町と相模原市を繋ぐ南北道路の整備を行います。2023年度は詳細設計(相模原市施行)及び用地取得を行います。
⑥	都計道3・4・19(矢部) 【矢部図書館】	11,802	矢部町と相模原市を繋ぐ宮前橋の橋梁整備を行います。2023年度は橋梁工事積算支援業務委託及び迂回路用地の借上げを行います。
⑦	都計道3・4・34(南大谷) 【本町田金森線】 都計道3・4・9(成瀬) 【成瀬けやき通り】	15,198	成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの整備を行います。2023年度は事業認可の取得に向けて路線・用地測量委託等を実施します。
⑧	鶴川駅北口広場 鶴川駅南北自由通路	651,550	鶴川駅北口において、安全で便利な交通結節点とするため、北口広場の再編・整備を行います。また、鶴川駅南北の連絡性向上のため鶴川駅南北自由通路の整備を行います。2023年度は北口広場の街築工事・バスシェルター設置工事・南北自由通路の整備工事等を行います。

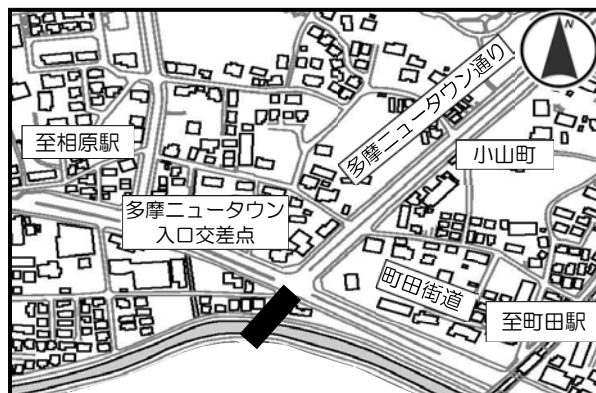
件名	都市計画道路築造事業	
【事業の内容】		
① 都計道 3・3・7(成瀬)【成瀬街道】		
<p>成瀬街道の成瀬コミュニティセンター前交差点の東西約 110m の区間を整備するものです。本事業によって現道の幅員 12～13m を 22～25m(両側歩道 3.5m)に拡幅整備し、交通の円滑化を図ります。(事業規模:延長約 110m 幅員 22～25m)</p> <p>2023 年度は用地取得等を行います。</p>		
【主な事業費】	物件等補償料	175,393 千円
	用地購入費	114,995 千円
【主な特定財源】	東京都受託収入	290,388 千円
		
② 都計道 3・4・11(原町田)【原町田大通り】		
<p>原町田大通りを北東に延伸し、町田街道の原町田五丁目交差点から東京都が施行する都市計画道路 3・3・36 号に接続する約 520m の区間を整備するものです。本事業によって道路ネットワークの構築・交通の円滑化及び中心市街地の回遊性を高め、町田駅周辺のまちづくりを推進します。(事業規模:延長約 520m 幅員 25～41m)</p> <p>2023 年度は物件調査・景観設計等を行います。</p>		
【主な事業費】	物件調査・積算委託料	24,000 千円
	景観設計委託料	15,000 千円
【主な特定財源】	東京都受託収入	24,000 千円
		
③ 都計道 3・4・22(小野路)【大蔵小野路線】		
<p>小野路交差点の東西約 300m の区間を整備するものです。本事業によって現道の幅員を 8m から 16m(両側歩道 3.5m)に拡幅整備し、交通の円滑化を図ります。(事業規模:延長約 300m 幅員 16m)</p> <p>2023 年度は用地取得及び道路・電線共同溝・橋梁等の詳細設計等を行います。</p>		
【主な事業費】	物件等補償料	130,900 千円
	用地購入費	58,319 千円
	道路等詳細設計委託料	44,643 千円
【主な特定財源】	東京都受託収入	222,642 千円
		

④ 都計道 3・4・41(小山)【多摩ニュータウン通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、本事業によって相模原市方面のアクセス性向上及び町田街道の慢性化した渋滞の緩和を図ります。(事業規模:延長 50m 幅員 18m)

2023 年度は橋梁工事(相模原市施行)・交差点改良工事(町田市施行)を行います。

【主な事業費】	整備等負担金	393,183 千円
	(橋梁工事費(相模原市施行))	
	整備工事費	56,000 千円
【特定財源】	都市計画費補助金	73,500 千円
	(都 1/2)	
	都市計画事業債	313,000 千円

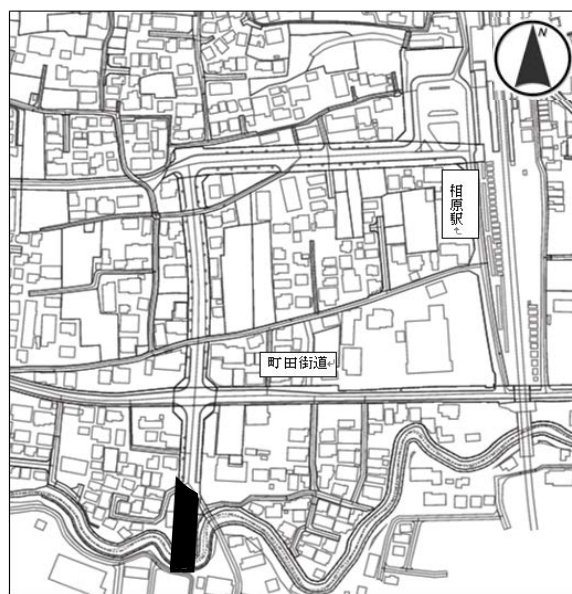


⑤ 都計道 3・4・49(相原町)【相原南北通り】

八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、相原駅西口広場と相模原市の都市計画道路とを接続することで、駅周辺のまちづくりの推進及び周辺道路の渋滞緩和を図ります。(事業規模:延長約 120m 幅員 16m)

2023 年度は橋梁の詳細設計・用地取得等を行います。

【主な事業費】	物件等補償料	54,348 千円
	用地購入費	23,359 千円
	整備等負担金	5,000 千円
	(橋梁詳細設計(相模原市施行))	
【特定財源】	都市計画費補助金	25,350 千円
	(都 1/2)	
	都市計画事業債	27,000 千円



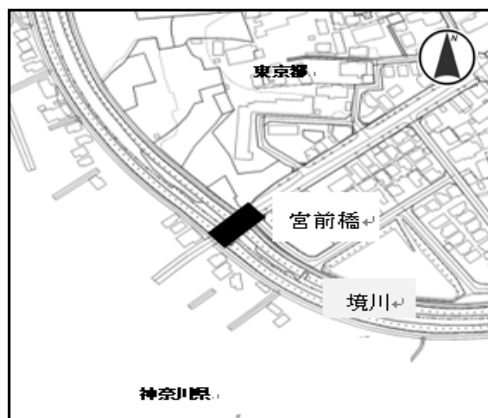
⑥ 都市計画道路 3・4・19(矢部)【矢部図師線】

町田市と相模原市を結ぶ道路ネットワークを構築する都市計画道路であり、宮前橋を整備することで、交通の円滑化と歩行者通行の安全性向上を図ります。

(事業規模:延長約 24m 幅員 16m)

2023 年度は橋梁設計を行います。

【主な事業費】	橋梁設計委託料	10,800 千円
---------	---------	-----------



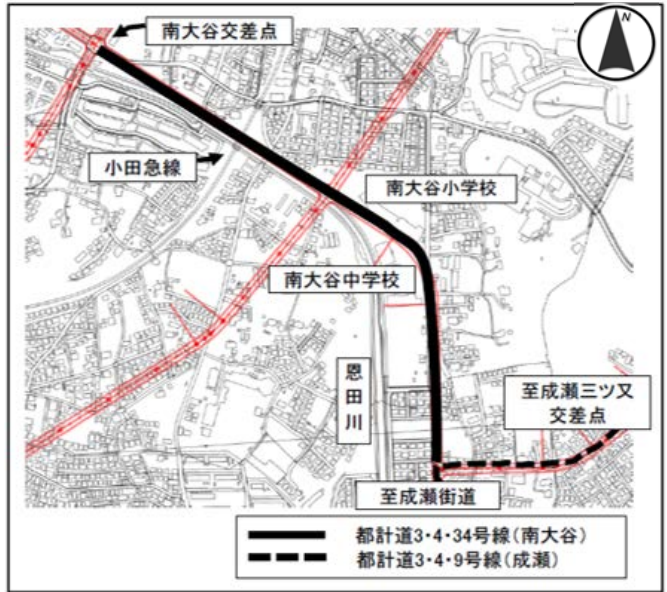
⑦ 都計道 3・4・34(南大谷)【本町田金森線】

都計道 3・4・9(成瀬)【成瀬けやき通り】

南大谷交差点から小田急線をアンダーパスし、南大谷小・中学校の間を抜け、市立成瀬うさぎ谷戸公園西側までを整備します。本事業によって成瀬三ツ又交差点から南大谷交差点までの周辺道路の渋滞緩和を図ります。(事業規模:延長約 1,290m 幅員 16m)

2023 年度は用地・路線測量等を行います。

【主な事業費】	測量委託料	9,108 千円
	予備設計委託料	4,670 千円



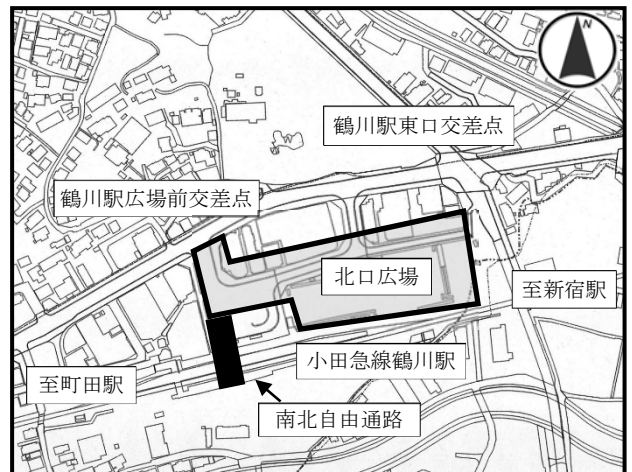
⑧ 鶴川駅北口広場・鶴川駅南北自由通路

(「鶴川駅周辺街づくり事業(50 ページ)」から再掲)

鶴川駅北口において安全で便利な交通結節点とするため、北口広場の再編・整備を行います。

また、鶴川駅南北の連絡性向上のため鶴川駅南北自由通路の整備を行います。(事業規模:北口広場 8,200 m² 自由通路 延長約 120m 幅員 10.5m)

2023 年度は北口広場の街築工事・バスシェルター設置工事・南北自由通路の整備工事等を行います。



【主な事業費】	北口広場整備工事費	285,748 千円
	南北自由通路整備等負担金	205,567 千円

(支障移設工事(小田急電鉄株式会社施行))

(2023～2028 年度債務負担行為事業 総事業費 3,336,012 千円)

【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 1/2)	82,007 千円
	都市計画費補助金(都 1/4)	41,003 千円
	都市計画事業債	265,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 市川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件名		地域交通推進事業																
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源												
93,966			0	0	0	648	93,318											
<p>【事業の背景・目的】</p> <p>町田市は、鉄道駅が市域の外縁部に位置していることから、日常的な移動手段としてバスが大きな役割を担っており、バス交通の利便性や快適性の維持・向上が重要です。</p> <p>加えて、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて働き方や学び方が変わり、自宅や近所で過ごす時間が増加していることから、地域内の外出をより快適にするための環境づくりが求められています。町田市都市づくりのマスタープラン方針編（交通）では、3つの施策のひとつとして「地域の中を快適に移動できる「小さなゆったりとした」交通を生み育てる」を掲げており、その実現に向けては多様な主体が連携し、地域全体で交通を支えていくことが必要となっています。</p> <p>これらの状況に対応するため、地域やバス事業者と協働した地域コミュニティバス等の運行や新たな地域交通の導入に向けた検討、バス事業者と連携したバス待ち環境の改善に取り組みます。</p> <p>また、町内会・自治会、福祉団体、交通事業者等、地域の移動の担い手が協働して行う、高齢者等の地域内での移動を支える取組への支援を行います。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>① 地域コミュニティバス運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉川学園地区コミュニティバス「玉ちゃんバス」、金森地区コミュニティバス「かわせみ号」の運行に必要な経費を補助します。 ・地域の支え合いによる移動の取組に係る費用の一部について補助します。 <p>② 路線バス利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路幅員が狭く路線バスの運行ができない交通不便地域への将来的なバス事業者による新規路線導入を目指し、現在運行している小山田桜台・多摩南部地域病院間の小型バス運行事業に必要な経費を補助します。 ・バス停の上屋、ベンチを設置するバス事業者に対して経費の一部を補助するとともに、交差点や横断歩道至近にある危険なバス停の改善に向けて必要な道路改修等を実施します。 <p>【主な事業費】</p> <table border="0"> <tr> <td>① 地域コミュニティバス運行事業補助金</td> <td>38,354 千円</td> </tr> <tr> <td>① 支え合い交通事業補助金</td> <td>2,250 千円</td> </tr> <tr> <td>② 小山田桜台・多摩南部地域病院間小型バス運行事業補助金</td> <td>42,770 千円</td> </tr> <tr> <td>② 改修工事費（危険バス停改善に必要な道路改修工事等）</td> <td>5,812 千円</td> </tr> <tr> <td>② バス利用促進等総合対策事業補助金</td> <td>3,700 千円</td> </tr> </table> <p>【特定財源】</p> <table border="0"> <tr> <td>①② 広告掲載料</td> <td>648 千円</td> </tr> </table>							① 地域コミュニティバス運行事業補助金	38,354 千円	① 支え合い交通事業補助金	2,250 千円	② 小山田桜台・多摩南部地域病院間小型バス運行事業補助金	42,770 千円	② 改修工事費（危険バス停改善に必要な道路改修工事等）	5,812 千円	② バス利用促進等総合対策事業補助金	3,700 千円	①② 広告掲載料	648 千円
① 地域コミュニティバス運行事業補助金	38,354 千円																	
① 支え合い交通事業補助金	2,250 千円																	
② 小山田桜台・多摩南部地域病院間小型バス運行事業補助金	42,770 千円																	
② 改修工事費（危険バス停改善に必要な道路改修工事等）	5,812 千円																	
② バス利用促進等総合対策事業補助金	3,700 千円																	
①② 広告掲載料	648 千円																	
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 北川			電話	724-4260													

件名	新たな図書館づくり推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
25,417		0	15,070	0	0	10,347

【事業の背景・目的】

市では、「あらゆる市民が利用しやすい図書館」「子どもの読書活動を充実させる図書館」「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」という、4つのめざす姿の実現に向けて、その実行計画である「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、取組を進めています。そうした中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、デジタル化を中心とした暮らし方の大きな変化がもたらされる一方、対面でのコミュニケーションや地域との関わりなど、人と人とのつながりの大切さが再認識されています。

このような社会状況の変化に対応するため、地域と「共に創り」「共に運営する」体制の構築や、図書館サービスのデジタル化、暮らしに合わせた本に触れる機会の提供を進めます。

【事業の内容】

1 ワタシが主役の図書館づくりの推進

図書館再編をきっかけとして、鶴川図書館を地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設へと転換するため、地域住民を主体とした運営団体の設立、施設の軽微な改修、運営団体によるイベントを実施します。

2 新たな図書館様式の推進

- ① 24時間365日利用することができる電子書籍サービスを提供し、併せてコンテンツの充実を図ります。
- ② デジタルデバインド解消に向けた講座や、デジタル端末の個別相談会などを中央図書館で実施します。
- ③ 暮らしの中で本に触れる機会を増やすため、市立図書館の予約図書の受渡場所を1ヶ所新設します。

【スケジュール】

年	2023						2024					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ワタシが主役の図書館づくりの推進	運営団体設立に向けた準備						●団体設立					
	イベントの企画・検討・準備						イベントの実施					
	施設改修											
	地域との意見交換											
新たな図書館様式の推進	① 電子書籍サービスの提供・コンテンツの充実											
	② デジタル支援講座・デジタル端末個別相談会の実施(中央図書館)											
	③ 受渡場所の新設											

【主な事業費】

1 図書コミュニティ施設運営体制構築業務委託料	6,710 千円
団体設立後の運営に関する業務委託料	2,090 千円
2 電子書籍コンテンツ使用料	13,475 千円
電子書籍システム使用料、デジタル端末利用支援業務委託料など	1,595 千円
システム改修費(受渡場所の新設)	1,100 千円

【特定財源】

2 子ども・長寿・居場所包括補助事業費補助金(都 10/10)	15,070 千円
---------------------------------	-----------

問合せ先	生涯学習部 図書館長 中嶋	電話	728-8220
------	---------------	----	----------

件名		地域回遊イベント事業（まちだ謎解きゲーム第3弾）				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
29,634		0	5,000	0	0	24,634

【事業の背景・目的】

2022 年度に市内の観光拠点や商店街への来訪促進を目的に実施した地域回遊イベント「まちだ謎解きゲーム」は、累計 1 万人以上が参加し、特に若い世代に対して町田市の魅力発信をする機会となりました。

「謎解きのまち」としての知名度向上を追い風に、新たな回遊型謎解きイベントを実施することで、市内外からのさらなる来訪を促し、より多くの方に観光拠点を回遊していただくことで、町田市の魅力を発信します。

また、参加者がイベント中に感じた町田市の魅力をアンケート調査した結果から、新たな地域素材を発掘し、観光施策の拡充につなげます。



まちだ謎解きゲーム 2 ポスター画像

【事業の内容】

「まちだ謎解きゲーム」の第 3 弾を、2023 年秋に開催します。また、2023 年夏ごろに第 3 弾開催に向けた機運向上のサブイベントを実施するとともに、ウェブ媒体やSNSでイベント告知情報を拡散し、市内外からの参加を促進します。

【スケジュール】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
イベント				サブイベント			第3弾開催					
告知		実施			実施			実施				

【事業費】

まちだ謎解きゲーム業務委託料 29,634 千円

【特定財源】

観光まちづくり推進支援事業補助金(都) 5,000 千円

問合せ先	経済観光部 観光まちづくり課長 老沼	電話	724-2128
------	--------------------	----	----------

件名		性の多様性への理解促進事業												
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源								
646			0	428	0	0	218							
<p>【事業の背景・目的】</p> <p>近年、性の多様性への関心が高まる一方、性的マイノリティに対する差別や偏見は依然として存在し、困りごとや生きづらさを抱えながら生活をしている方々があります。市では、当事者の方の不安や悩みに寄り添うとともに、一人ひとりの性の多様性に関する理解を促進する取組を進めています。</p> <p>2023年度からは、2023年4月に施行予定の「町田市性の多様性の尊重に関する条例」や、本条例に基づく「町田市パートナーシップ宣誓制度」の導入を契機とし、市民や事業者の理解・協力を得て、全市を挙げた取組とすることで、性自認及び性的指向を理由とする偏見及び差別がなく、誰もが安心して暮らしながら、多様な生き方を選択できる社会をめざします。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>①性の多様性に関する理解促進 性の多様性に関する理解を深めるために、市民向けの講座・講演会を開催します。また、職員向けの研修を実施します。</p> <p>②性の多様性に関する周知・啓発 リーフレットの作成やSNSの活用などにより、周知・啓発活動を行います。</p> <p>③性自認・性的指向に関する電話相談 当事者の方の不安や悩みに寄り添い解決に向けたサポートを行うために、月1回の電話相談を実施します。</p> <p>④パートナーシップ宣誓制度 同性の二人が自由意思により、お互いを人生のパートナーとして協力し合うことを約束した関係であると宣誓したことを、行政が証明します。市では、本制度の理解や普及に向け、広報啓発活動を行うとともに、証明書を提示することにより市営住宅の申込みなどの行政サービスを提供する取組を率先して行います。 また、先行して制度導入している東京都と連携協定を結び、制度の相互利用を行います。</p> <p>【事業費】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">①講座、研修講師報償費</td> <td style="text-align: right;">60千円</td> </tr> <tr> <td>②④啓発用品消耗品費</td> <td style="text-align: right;">434千円</td> </tr> <tr> <td>③電話相談委託料</td> <td style="text-align: right;">152千円</td> </tr> </table> <p>【特定財源】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">人権啓発活動区市町村補助金（都 10/10）</td> <td style="text-align: right;">428千円</td> </tr> </table>							①講座、研修講師報償費	60千円	②④啓発用品消耗品費	434千円	③電話相談委託料	152千円	人権啓発活動区市町村補助金（都 10/10）	428千円
①講座、研修講師報償費	60千円													
②④啓発用品消耗品費	434千円													
③電話相談委託料	152千円													
人権啓発活動区市町村補助金（都 10/10）	428千円													
問合せ先	市民部 市民協働推進課男女平等・消費生活担当課長 羽生			電話	723-2908									



件名	地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
37,850		28,250	0	0	0	9,600

【事業の背景・目的】

「8050問題」や「ダブルケア」など、市民の困りごとが複雑化・複合化しているなか、相談者が身近な地域の相談支援機関において、まとめて相談することができ、早期に複数の支援機関による連携した支援サービスを受けることができる体制づくりが課題となっています。また、要支援者と支援機関をつなぐ役割は、これまでその一翼を民生委員・児童委員が担ってきましたが、成り手不足が顕在化しています。

こうした課題に対応するため、町田市地域ホッとプランに基づき、2023年1月から相原地区及び小山地区の2地区をモデル地区として、「地域福祉コーディネーター」を配置するなど、地域における包括的な相談支援を開始しました。

2023年度は、配置する地区を拡大し、地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化を図ります。

【事業の内容】

新たに2024年1月から鶴川地区へ地域福祉コーディネーターを配置し、以下の支援事業を実施します。

①潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援

地域の様々な支援関係者との連携を通じて、支援が必要な方々の情報を把握し、適切な支援機関につながります。支援の必要性を認識されていない方などに対しては、定期的、継続的に関わり続け、本人や家族との間で関係性を構築したうえで、支援機関につながりアウトリーチ支援を行います。

②支援機関の役割分担の調整

本人や家族が抱える課題を整理したうえで、関係する支援機関を集めてサポート会議を開催し、支援機関の役割分担を調整します。

③社会への参加支援及び地域づくり支援

NPO法人等の地域団体に働きかけ、協働して社会への参加支援を行います。また、新たな地域資源の開拓や既存の地域資源の拡充など、地域づくり支援を行います。

④福祉・保健の各分野を横断した困りごと相談

活動拠点に相談窓口を設置し、福祉・保健の各分野を横断した困りごと相談を行います。

【スケジュール】

地区	4月	～	10月	11月	12月	1月	2月	3月～
相原地区及び小山地区	事業実施・検証							
鶴川地区	関係機関との連携内容の調整		事業の広報・周知			事業実施・検証		

【主な事業費】

地域福祉コーディネーター業務委託料 36,758 千円

【特定財源】

生活困窮者就労準備支援事業 28,250 千円
費等補助金(国 3/4・1/2)

問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 深沢	電話	724-2133
------	-----------------	----	----------

件名		避難行動要支援者避難支援体制整備事業																								
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																				
12,330			0	2,500	0	0	9,830																			
<p>【事業の背景・目的】</p> <p>災害対策基本法の一部改正（2021年5月20日施行）において、「市町村長は避難行動要支援者^{※1}の個別避難計画^{※2}の作成に努める」ことが位置付けられました。また、国の取組指針では、改正法施行からおおむね5年程度（2026年度）で、優先度の高い者^{※3}の個別避難計画を作成することが求められています。</p> <p>市では、高齢者や障がい者が犠牲となっている近年の災害状況を受け、発災時の対応を喫緊の課題と捉え、2022年度から避難行動要支援者の避難支援体制の整備に向けた検討をすすめています。</p> <p>※1 高齢者や障がい者などのうち、災害時に自ら避難することが困難で避難行動に特に支援を要する者 （2022年度町田市内対象者：約12,500人）</p> <p>※2 避難行動要支援者を誰が支援して、どこに避難するかを定めた個別の計画</p> <p>※3 ハザードの状況や対象者の心身の状況などにより、優先して個別避難計画の作成が必要とされる者 （約600人を想定。優先度の設定について2023年2月時点で検討中のため、今後変更の可能性があります）</p> <p>【事業の内容】</p> <p>2023年度は、町田市災害時要配慮者対策推進会議及び個別避難計画作成検討作業部会で、個別避難計画の作成手法等を検討し、マニュアルを作成します。また、避難行動要支援者を支援する関係者と協議等を行い、災害時に避難支援を行う体制を整備します。さらに、避難行動要支援者の名簿及び個別避難計画を管理するシステムを導入し、対象者の抽出や個別避難計画の作成・進捗管理等を効率的に行うことにより、2024年度から優先度の高い者の個別避難計画の作成を開始します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇個別避難計画作成から災害時の避難支援は①から③の順</p> </div> <p>【スケジュール】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別避難計画の作成方法や様式等の検討</td> <td>マニュアル作成</td> <td colspan="3" rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> 優先度の高い者の個別避難計画作成 （作成人数） 100人 250人 250人 </td> </tr> <tr> <td>避難支援等関係者との協議・説明会等の開催</td> <td>連携体制の整備</td> </tr> <tr> <td>システム設計・構築作業</td> <td>検証 → 導入</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業費】</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>避難行動要支援者避難支援体制整備支援業務委託料</td> <td style="text-align: right;">6,500千円</td> </tr> <tr> <td>避難行動要支援者名簿管理システム導入委託料</td> <td style="text-align: right;">5,830千円</td> </tr> </table> <p>【特定財源】</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td>地域福祉推進区市町村包括補助事業費補助金（都1/2）</td> <td style="text-align: right;">2,500千円</td> </tr> </table>							2023年度		2024年度	2025年度	2026年度	個別避難計画の作成方法や様式等の検討	マニュアル作成	優先度の高い者の個別避難計画作成 （作成人数） 100人 250人 250人			避難支援等関係者との協議・説明会等の開催	連携体制の整備	システム設計・構築作業	検証 → 導入	避難行動要支援者避難支援体制整備支援業務委託料	6,500千円	避難行動要支援者名簿管理システム導入委託料	5,830千円	地域福祉推進区市町村包括補助事業費補助金（都1/2）	2,500千円
2023年度		2024年度	2025年度	2026年度																						
個別避難計画の作成方法や様式等の検討	マニュアル作成	優先度の高い者の個別避難計画作成 （作成人数） 100人 250人 250人																								
避難支援等関係者との協議・説明会等の開催	連携体制の整備																									
システム設計・構築作業	検証 → 導入																									
避難行動要支援者避難支援体制整備支援業務委託料	6,500千円																									
避難行動要支援者名簿管理システム導入委託料	5,830千円																									
地域福祉推進区市町村包括補助事業費補助金（都1/2）	2,500千円																									
問合せ先	地域福祉部 福祉総務課長 深沢		電話	724-2133																						

件名		地域介護予防活動支援事業（介護保険事業会計）				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
119,067		25,589	28,415	0	50,792	14,271

【事業の背景・目的】

町田市の高齢化率は2022年12月現在で約27%（高齢者人口約117,000人）であり、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、約35%（高齢者人口約142,000人）に達する見込みです。高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活をするためには、健康であることや地域とのつながりが大切になります。このため、それぞれの身近な場所で介護予防への取組や社会参加することができる環境づくりを行います。

【主な事業の内容】

- ①各高齢者支援センターに地域介護予防推進員を配置し、地域の介護予防活動を推進します。
- ②「町トレ（町田を元気にするトレーニング）」を始めとした、介護予防活動を行うグループの立ち上げや活動継続の支援に取り組みます。また、オンラインを活用したグループ活動の支援も行います。
- ③地域でのボランティア活動にポイントを交付し、商品券等で還元を行うことにより、ボランティア活動への参加を促す「いきいきポイント制度」を推進します。
- ④介護予防に関する普及啓発などの地域活動を行う「介護予防サポーター」を養成します。

年度	2023											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
① 地域介護予防推進員	各地域にて介護予防講座・イベント・教室等（各支援センターごとに通年で企画・実施）											
②「町トレ」支援	「町トレ」プレゼンテーション（年35回） スタート応援講座（年105回） 継続支援（年234回）											
②オンライン活用支援	オンラインツールの使い方等に関する講座実施、相談窓口の設置（各支援センターごとに通年で企画・実施）											
③いきいきポイント制度	登録研修会（毎月実施） ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 活動ポイントの還元（随時実施）											
④「介護予防サポーター」養成	養成講座（第1期）実施			養成講座（第2期）実施			養成講座（第3期）実施			養成講座（第4期）実施		

【主な事業費】

①地域介護予防推進員事業業務委託料	68,400 千円
②オンライン活用支援業務委託料	9,965 千円
③いきいきポイント事業業務委託料	9,315 千円
④介護予防サポーター養成講座業務委託料	682 千円

【主な特定財源】

地域支援事業交付金（国 2/10）	20,720 千円
地域支援事業交付金（都 1.25/10）	12,950 千円

問合せ先	いきいき生活部 高齢者福祉課長 江成	電話	724-2141
------	--------------------	----	----------

件名		共創プラットフォーム推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,643		0	0	0	0	12,643

【事業の背景・目的】

町内会・自治会をはじめとした地域の様々な団体がつながるネットワーク「地区協議会」や、地域団体の組織運営を支援する「町田市地域活動サポートオフィス」の設立により、市と地域との協働による地域社会づくりが着実に進んできました。今後、多様化する市民ニーズや地域課題に 대응し続けるためには、これまで築いてきたつながりをさらに広げ、多様な主体が地域に関わることが必要です。

そのため、2022年3月に策定した「町田市地域ホッとプラン」に基づき、地域のやりたいことの実現、地域課題の解決、地域活動の創出や既存活動の支援を行い、個人や団体が話し合いや取り組みを行う場であるプラットフォームの活用を推進します。

【事業の内容】

①地区協議会支援

市内全10地区に設立されている地区協議会に対して、活動拠点の確保、補助金の交付や運営の支援を継続して行います。

②まちだをつなげる30人

「まちだをつなげる30人」※1のメンバーが地域のキーパーソンとなって「寄り合い-The YORIAI-」※2の中でファシリテーターとして活躍できるよう、地域コミュニティ活性化フォローアップ研修を実施します。また、2022年度まで実施した「まちだをつなげる30人」で生まれたデジタル活用や文化芸術発信などの各プロジェクトが継続するよう支援します。

※1「まちだをつなげる30人」…2020年に始まった、背景の異なる多様な人々が集まり、つながりを深めながら周囲の関係者を招き入れ、地域課題解決を行うまちづくりプロジェクト。

※2「寄り合い-The YORIAI-」…地域、企業、行政等の多様な主体が地域課題解決に向けたアイデアを持ち寄り、その地域課題を自分ごととして共感した人が話し合い行動につなげる場。

③地域のデジタル化支援

町内会・自治会の回覧や、町内会・自治会への加入未加入を問わない地域情報のやりとりをオンラインで行う地域のデジタル化の活用支援を2022年度に引き続き継続します。

また、デジタル世代である若年層にも地域に興味を持ってもらうため、市内全ての町内会・自治会でこれらのデジタル化を支援できるよう利用登録を推進します。

【スケジュール】

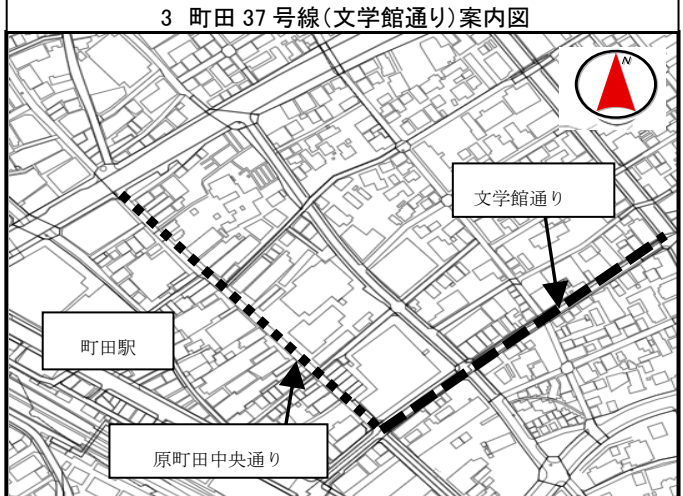
年度	2023											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①地区協議会支援	各地区協議会の実施事業の決定						補助金の交付					
			●							●		
②まちだをつなげる30人			●							●		
③地域のデジタル化支援	町内会・自治会システム活用支援・利用登録促進											


【主な事業費】

①地区協議会補助金	10,000千円
②「まちだをつなげる30人」フォローアップ研修業務委託	550千円
③町内会・自治会システム使用料	2,069千円

問合せ先	市民部 市民協働推進課長 石田	電話	724-4358
------	-----------------	----	----------

件名		里山環境整備事業																																														
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																																										
54,601			0	18,027	0	0	36,574																																									
<p>【事業の背景・目的】</p> <p>近年、自然環境への意識の高まりなどを受け、都市近郊でまとまったみどりが残る「まちだの里山」には多くの人が訪れています。一方で、人の手によって管理されてきた里山は、産業構造や生活様式の変化により資源の循環が途切れ、不法投棄による生活環境や景観の悪化、生態系の変化などが指摘されています。</p> <p>そこで、「町田市里山環境活用保全計画(2022年3月策定)」に基づき、「住む人も訪れる人も居心地のよいまちだの里山」を目指し、山林と農地を再生し持続可能な保全につなげるため、市内外の団体や企業など幅広い主体との連携・協働により、里山を体感する取り組みや里山資源を活用する取り組みを推進します。</p> <p>実施にあたっては、山林の再生や木材の活用等の施策に森林環境譲与税を活用することで、事業の推進を図ります。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>① 交流回遊拠点整備 来訪者の休憩や来訪者と地域住民の交流の場など、里山をより身近に感じ楽しむことができる拠点となる施設の基本構想を策定します。</p> <p>② 作業路整備 山林の再生と活用を図るため、小山田小学校北側の山林の伐採木の搬出や資材の搬入を行う作業路(延長約400m)の設計等を行います。</p> <p>③ 農地等整備 農地の保全を図るため、耕作が行われていない農地や農道などの整備を行い、農業者に貸付し、農地として活用します。</p> <p>【スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> <th>2025年度</th> <th>2026年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 交流回遊拠点整備</td> <td>基本構想の策定</td> <td>基本計画の策定</td> <td>事業者の選定</td> <td>基本設計</td> </tr> <tr> <td>② 作業路整備</td> <td>予備設計・地質調査等</td> <td>詳細設計</td> <td>整備工事</td> <td>樹木の伐採</td> </tr> <tr> <td>③ 農地等整備</td> <td>小野路町 外2箇所</td> <td>下小山田町</td> <td>下小山田町</td> <td>上小山田町</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な事業費】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>①基本構想策定委託料</td> <td>3,011千円</td> <td>③土地改良事業費補助金(都1/2)</td> <td>10,159千円</td> </tr> <tr> <td>②測量委託料</td> <td>6,917千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②地質調査委託料</td> <td>6,395千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②設計委託料</td> <td>3,341千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③整備工事費(小野路町 外2箇所)</td> <td>20,319千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な特定財源】</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>③土地改良事業費補助金(都1/2)</td> <td>10,159千円</td> </tr> </tbody> </table>								2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	① 交流回遊拠点整備	基本構想の策定	基本計画の策定	事業者の選定	基本設計	② 作業路整備	予備設計・地質調査等	詳細設計	整備工事	樹木の伐採	③ 農地等整備	小野路町 外2箇所	下小山田町	下小山田町	上小山田町	①基本構想策定委託料	3,011千円	③土地改良事業費補助金(都1/2)	10,159千円	②測量委託料	6,917千円			②地質調査委託料	6,395千円			②設計委託料	3,341千円			③整備工事費(小野路町 外2箇所)	20,319千円			③土地改良事業費補助金(都1/2)	10,159千円
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度																																												
① 交流回遊拠点整備	基本構想の策定	基本計画の策定	事業者の選定	基本設計																																												
② 作業路整備	予備設計・地質調査等	詳細設計	整備工事	樹木の伐採																																												
③ 農地等整備	小野路町 外2箇所	下小山田町	下小山田町	上小山田町																																												
①基本構想策定委託料	3,011千円	③土地改良事業費補助金(都1/2)	10,159千円																																													
②測量委託料	6,917千円																																															
②地質調査委託料	6,395千円																																															
②設計委託料	3,341千円																																															
③整備工事費(小野路町 外2箇所)	20,319千円																																															
③土地改良事業費補助金(都1/2)	10,159千円																																															
問合せ先	経済観光部 農業振興課長 杉山			電話	724-2164																																											

件名		無電柱化推進事業				
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
326,250			44,000	77,364	169,000	927
<p>【事業の背景・目的】 良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、2020年3月に策定した町田市無電柱化推進計画に基づき、事業効果の高い既設道路及び事業効率の高い新規整備路線において総延長約5.3kmの無電柱化を行います。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>1 町田 623 号線(消防署前) 防災機能の更なる向上を図るため、2023年度は2022年度に引き続き電線共同溝及び道路改良工事を行い、2026年度の整備完了を目指します。</p> <p>2 町田 835 号線(原町田中央通り) 景観の向上及び商業の活性化のため、2023年度から電線共同溝の整備工事に着手し、2027年度の整備完了を目指します。</p> <p>3 町田 37 号線(文学館通り) 中心市街地から芹ヶ谷公園へのアクセス路の1つであり、商業の活性化に寄与するため、無電柱化に向けて検討を行っています。2023年度は電線共同溝及び道路予備設計、埋設物調査工事を行います。</p>						
<p>1 町田 623 号線(消防署前)案内図</p> 		<p>2 町田 835 号線(原町田中央通り) 3 町田 37 号線(文学館通り)案内図</p> 				
【主な事業費】		<p>1 整備工事費(街築・伐採・電線共同溝) 187,300 千円</p> <p>2 整備工事費(電線共同溝) 120,000 千円</p> <p>3 整備工事費(埋設物調査工事) 10,386 千円</p> <p>3 予備設計委託料(道路・電線共同溝) 6,764 千円</p>				
【主な特定財源】		<p>1・2 無電柱化推進計画事業費補助金(国 5.5/10) 44,000 千円</p> <p>1・2・3 道路橋梁費補助金(都 4.5/10 など) 77,364 千円</p> <p>2・3 道路整備事業債 169,000 千円</p>				
問合せ先	道路部 道路整備課長 市川			電話	724-1122	

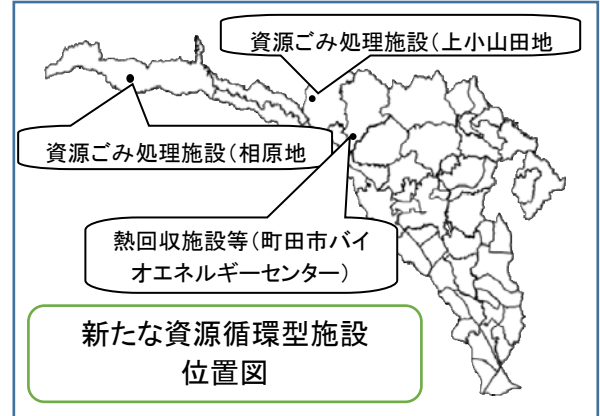
件名		次世代エネルギー等推進事業																																																																																
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																																																																												
14,498			0	213	0	0	14,285																																																																											
<p>【事業の背景・目的】</p> <p>町田市は、第3次町田市環境マスタープラン(計画期間2022年度から2031年度まで)において、「エネルギーを賢く利用し、気候変動の影響にも対応するまち」や「環境について、みんなで学び、協働を進めるまち」などを基本目標として掲げています。この基本目標の下、水素エネルギーや再生可能エネルギーの普及・導入を進めることにより、温室効果ガスの排出量を削減し、脱炭素社会の実現を目指します。</p>																																																																																		
<p>【事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭用燃料電池(エネファーム)の設置奨励金を給付し、各家庭における次世代エネルギーの利用を促進します。 ・町田市庁舎の電気自動車用普通充電器を急速充電器へ更新し、次世代自動車の普及・拡大を図ります。 ・小学生や中学生を対象とする水素エネルギーの普及啓発環境学習会を開催します。 																																																																																		
 <p>電気自動車用充電器 (町田市バイオエネルギーセンター内)</p>																																																																																		
<p>【スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="12">2023</th> </tr> <tr> <th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭用燃料電池設置奨励金</td> <td colspan="2">受付準備</td> <td>受付</td> <td colspan="9">交付</td> </tr> <tr> <td>電気自動車充電器設置</td> <td colspan="5">充電器設置工事・準備</td> <td colspan="7">充電器利用開始</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環境学習会・イベント開催</td> <td colspan="3">環境学習会調整</td> <td colspan="6">環境学習会開催</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">イベント企画調整</td> <td colspan="7">準備・開催</td> </tr> </tbody> </table>							年度	2023												4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	家庭用燃料電池設置奨励金	受付準備		受付	交付									電気自動車充電器設置	充電器設置工事・準備					充電器利用開始							環境学習会・イベント開催	環境学習会調整			環境学習会開催									イベント企画調整					準備・開催						
年度	2023																																																																																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																						
家庭用燃料電池設置奨励金	受付準備		受付	交付																																																																														
電気自動車充電器設置	充電器設置工事・準備					充電器利用開始																																																																												
環境学習会・イベント開催	環境学習会調整			環境学習会開催																																																																														
	イベント企画調整					準備・開催																																																																												
<p>【主な事業費】</p> <table> <tr> <td>急速充電器設置工事費等</td> <td>8,048 千円</td> </tr> <tr> <td>家庭用燃料電池設置奨励金</td> <td>5,250 千円</td> </tr> <tr> <td>次世代エネルギー普及イベント支援委託料</td> <td>720 千円</td> </tr> <tr> <td>環境学習会講師謝礼</td> <td>427 千円</td> </tr> </table>							急速充電器設置工事費等	8,048 千円	家庭用燃料電池設置奨励金	5,250 千円	次世代エネルギー普及イベント支援委託料	720 千円	環境学習会講師謝礼	427 千円																																																																				
急速充電器設置工事費等	8,048 千円																																																																																	
家庭用燃料電池設置奨励金	5,250 千円																																																																																	
次世代エネルギー普及イベント支援委託料	720 千円																																																																																	
環境学習会講師謝礼	427 千円																																																																																	
<p>【特定財源】</p> <table> <tr> <td>地域環境力活性化事業補助金(都 1/2)</td> <td>213 千円</td> </tr> </table>							地域環境力活性化事業補助金(都 1/2)	213 千円																																																																										
地域環境力活性化事業補助金(都 1/2)	213 千円																																																																																	
問合せ先	環境資源部 環境政策課温暖化対策担当課長 高橋			電話	724-4386																																																																													

件名		循環型施設整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,544,775		612,000	89,000	1,310,000	388,422	145,353

【事業の背景・目的】

「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、資源循環型施設を分散して配置していきます。2022年1月には、老朽化したごみ処理施設に代わり、町田市バイオエネルギーセンター（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）が稼働しました。

今後は、旧清掃工場の解体等を進めるとともに、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内2箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。



【事業の内容】

1 熱回収施設等

2022年1月の町田市バイオエネルギーセンター稼働後、旧清掃工場の解体工事に着手しました。2023年度は、引き続き旧清掃工場の解体工事を進め、ストックヤード棟の建築工事に着手します。

<事業概要>

事業名	町田市熱回収施設等（仮称）整備運営事業
施設名称	町田市バイオエネルギーセンター
建設地	下小山田町3160番地（町田リサイクル文化センター敷地内）
面積	敷地面積：約77,000㎡ 延床面積：工場棟約17,000㎡、管理棟約5,200㎡
事業方式	施設の設計・建設・解体及び約20年間の運営を包括的に委託するDBO方式
業務概要	施設整備業務：設計・建設・解体（既存施設）（2016年12月～2024年6月） 施設運営業務：運営管理・維持管理（2022年1月～2041年3月）
施設概要	熱回収施設（焼却施設）：ストーカ方式 258t/日（129t/日×2炉） バイオガス化施設：乾式高温メタン発酵 50t/日 不燃・粗大ごみ処理施設：機械選別・手選別 47t/5h



町田市バイオエネルギーセンター



案内図

<スケジュール>

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	～2040
1 熱回収施設等	★ 契約	設計		施設整備工事			●稼働	運営		
		造成工事					既存工場棟解体工事 ストックヤード棟整備等		●整備事業完了	
		旧管理棟等 解体工事								

2 資源ごみ処理施設(相原地区及び上小山田地区)

2023年度は、相原地区の資源ごみ処理施設整備に向け、用地取得や整備工事発注の準備を進めます。

【主な事業費】

1 熱回収施設等

整備工事費(解体工事費およびストックヤード棟建設工事費) 1,677,140 千円

(2016～2024年度債務負担行為事業 総事業費 31,251,798 千円)

工事監理委託料 33,920 千円

(2016～2024年度債務負担行為事業 総事業費 287,280 千円)

2 資源ごみ処理施設

物件等補償料(相原地区) 300,000 千円

整備工事費(相原地区) 200,000 千円

(2023～2025年度債務負担行為事業 総事業費 6,148,450 千円)

測量委託料(上小山田地区) 20,028 千円

【特定財源】

循環型社会形成推進交付金(国 1/3) 612,000 千円

市町村総合交付金(都) 89,000 千円

廃棄物処理施設整備事業債 1,310,000 千円

廃棄物減量再資源化等推進整備基金繰入金 388,422 千円

問合せ先

環境資源部 循環型施設整備課長 田中

電話

724-4384

件名		デジタル化推進事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
一般会計：248,691		105,977	0	0	0	142,714
特別会計：85,767		0	0	0	85,767	0

【事業の背景・目的】

国は、目指すべきデジタル社会の実現に向けて、迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記した「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を策定しました。

市では、この国の計画と外部有識者で構成する「町田市デジタル化推進委員会」の提言を踏まえ、デジタル技術を活用した行政サービス改革を進めるために「町田市デジタル化総合戦略 2022」を策定しました。この戦略に基づき、行政サービスを「人手のかかるサービスデザイン」から「デジタルベースのサービスデザイン」へ変革し、デジタル技術の徹底的活用による市民の利便性向上と市役所の生産性向上を目指します。



※「町田市デジタル化総合戦略 2022」の表紙は最新の画像生成 AI を利用して作成しました。

【事業の内容】

1 市民の利便性向上を目指す主な取り組み

取り組み名	取り組み内容
1-1 「オンライン行政手続サービスの推進」	2022 年度から「LINE」などによる、オンライン行政手続サービスを導入し、いつでも、どこでもスマートフォンやパソコンから行政手続を行えるように、環境整備を行いました。2023 年度は、オンライン化しやすく、申請件数が多い行政手続のオンライン化を推進します。
1-2 「学校徴収金管理システムの導入」	市立小・中学校の教材費等を管理するシステムを導入します。これにより、教員の負担が軽減され、授業準備や教材研究等に一層注力できるようになります。また、保護者の方が口座振替の申込をいつでも、どこでもスマートフォンやパソコンからできるようになります。
1-3 「市民向け防災ポータルサイトの導入」	防災システムの刷新に合わせ、市民向け防災ポータルサイトを導入します、このことにより市民が、いつでも、どこでもスマートフォンやパソコンから、避難施設の位置や避難施設の状況など、災害時に必要な情報に簡単にアクセスできるようになります。

2 市役所の生産性向上を目指す主な取り組み

取り組み名	取り組み内容
2-1 「クラウドサービスへの切り替え（所有からサービス利用へ）」	<p>自前で構築・運用している全ての情報システムを、クラウドサービスを活用した情報システムへと移行します。このことにより、情報システムの構築・運用にかかる職員の手間を削減します。</p> <p>2023年度は、国民健康保険システムや福祉システム等に移行します。</p>
2-2 「基幹業務システムの標準化」	<p>国は、各自治体がバラバラに導入している住民基本台帳や介護保険など、市民生活と関わりの深い業務システムの構築・運用等の手間を削減するために、自治体共通となる標準仕様を定めました。市は、この標準仕様に基づき、業務システムの標準化を進めます。</p> <p>このことを踏まえて、2023年度は、標準仕様に準拠した国民健康保険システムの利用を開始します。また、税務システムや福祉システム等の標準化に向けた準備作業を開始します。</p>
2-3 「土地評価システムの導入」	<p>固定資産税の土地評価において、紙地図と土地情報をデジタル化し、業務を効率化します。また、タブレットでこの情報を活用することにより、ペーパーレスで現地調査をすることができます。</p>

【事業費】

1-1 オンライン行政手続サービスに係る利用料	11,264 千円
1-2 学校徴収金管理システム利用料	5,048 千円
1-3 防災システム刷新関連費用	11,000 千円
2-1 情報システムをクラウドサービスに切り替える費用	167,442 千円
2-2 標準システムに転換した国民健康保険システムの運用保守委託料(国民健康保険事業会計)	85,767 千円
2-2 基幹業務システムの標準化に向けた準備作業	44,140 千円
2-3 土地評価システム導入関連費用	9,797 千円

【特定財源】

2-1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国)	81,997 千円
2-2 デジタル基盤改革支援補助金(国 10/10)	23,980 千円
2-2 一般会計繰入金(国民健康保険事業会計)	85,767 千円



※YouTube で DX の取り組みを公開しています。

問合せ先	政策経営部 デジタル戦略室課長 是安	電話	724-4432
	いきいき生活部 保険年金課長 武藤		724-4027

件名	公共施設等マネジメント事業					
	予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他
67,556			0	0	0	16,655

【事業の背景・目的】

市では、公共施設の更新の機会を新たな価値創出のチャンスと捉え、単に施設を減らすのではなく、これまでの価値や資源、想いを継承しながらも、時代に適応した将来につながるかたちに変えていくため、「まちだ未来づくりビジョン2040」の経営基本方針3「次世代につなぐ財政基盤を確立する」及び「町田市5ヵ年計画22-26」の経営改革プランに基づき、公共施設の再編に取り組んでいます。

この具体的な取り組みとして、町田駅周辺では、「町田市町田駅周辺公共施設再編構想」策定後に生じた環境変化等を踏まえ必要に応じて見直し等を行いながら、「教育センターの複合化」や「産業支援施設の複合化」等の再編プロジェクトを進め、将来につながる新たな価値の創出を目指していきます。

【事業の内容】

①教育センターの複合化

子ども・子育てに関するさまざまな支援が受けられ、また、地域にお住まいの高齢者など、多くの市民が利用できる複合施設を目指し、民間とのコラボレーションにより建替えます。

2028年度の新施設供用開始を目指し、2023年3月策定予定の(仮称)町田市子ども・子育てサポート等複合施設整備基本計画に基づき、2024年度の整備等事業者の公募に向け、要求水準書の作成等の公募準備を行います。

新施設のコンセプト

子ども・子育て支援を切れ目なく受けることができる施設

- ・ 母子保健機能と子ども・子育てに関する支援機能を複合化することで、「こども家庭センター」に対応することに加えて、子ども・子育てに関する様々な支援を切れ目なく受けることができる拠点を目指します。
- ・ 児童発達支援機能と教育支援機能を複合化することで、幼児期から学齢期まで切れ目のないサポートを受けることができるなど、子どもの発達や子育て・教育上の課題に対する総合的支援体制の一層の充実につなげます。
- ・ 子育て世帯の交流が自然と生まれる施設を目指します。

地域に開かれた日常的に使える心地よい居場所

- ・ 子育て世帯など、目的があって施設を訪れる方だけではなく、地域にお住まいの高齢者など、様々な市民が気軽に立ち寄って時間を過ごせるような施設を目指します。
- ・ 境川や河川沿いの緑地帯、そして、境川団地や住宅などの、周辺環境と調和し、かつ、地域の象徴(シンボル)となる施設を目指します。
- ・ 広い敷地を活かし、地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる民間サービスの誘致を図ります。

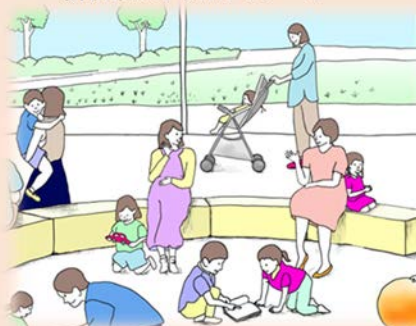
新施設に導入を予定している機能

- ・ 子ども・子育てに関する相談 ・発達相談、療育支援 ・虐待相談、養育支援訪問 ・妊産婦・乳幼児相談、乳幼児の各種検診
 - ・ 教育相談、就学相談、けやき教室・くすのき教室(不登校傾向の児童・生徒の通う学校)
 - ・ 非行相談等の更生保護活動 ・地域活動 ・居場所機能 ・地域の利便性や教育に対する付加価値を創出できる機能
- ※その他、都立児童相談所の誘致等を検討

新施設の利用イメージ



▲ 地域みんなで話し合える場所がある



▲ 親子で交流や相談ができる



▲ 境川からも歩いて立ち寄れる

②産業支援施設の複合化

町田新産業創造センターと町田商工会議所、町田市勤労者福祉サービスセンターを複合化し、町田市の産業振興を牽引する拠点を目指します。

2028年度供用開始を目指し、2022年3月に策定した「町田市産業支援施設複合化基本計画」に基づき、2024年度の整備等事業者の公募に向け、要求水準書の作成等の公募準備を行います。

新施設のコンセプト

町田市の産業振興を“牽引する”

創業に始まり、事業拡大や事業継続、さらには事業承継に至るまで、事業者のニーズを深く、広く受け止め、必要な事業者支援を行うとともに、働く人の福利厚生の実現を図る等、中小企業者の成長ステージに応じてワンストップサポートします。

事業者や働く人のチャレンジを“後押しする”

事業者や働く人がチャレンジへの想いを抱いたときに、その想いの実現に向けて第一歩を踏み出してもらえるように、関係支援機関の連携の下で、試験的な営業スペースや新商品・新サービスの実証実験機会の提供等、様々な後押しを行います。

ビジネスに携わる人々の事業活動力を“高める”

ビジネスの新たな価値やイノベーションを生み出すために、産業振興に関する情報を集約するほか、ビジネスに携わる多様な人材がいつでも気軽に交流し、アイデアを収集・発信・交換できる環境を提供します。

【スケジュール】

・2023年度のスケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①「教育センターの複合化」	実施方針・要求水準書(案)の作成・公表							公募資料調整				
②「産業支援施設の複合化」	実施方針・要求水準書(案)の作成・公表							公募資料調整				

・施設供用開始までのスケジュール

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028
①「教育センターの複合化」	公募準備	公募・契約	設計・建設工事			●供用開始
②「産業支援施設の複合化」	公募準備	公募・契約	設計・建設工事			●供用開始

【主な事業費】

①教育センターの複合化

(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等公募支援業務委託料 17,120 千円
(2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 37,080 千円)

②産業支援施設の複合化

産業支援複合施設整備事業公募支援業務委託料 16,221 千円
(2023～2024年度債務負担行為事業 総事業費 33,542 千円)

【主な特定財源】

②産業支援施設の複合化

指定寄附金 16,221 千円

問合せ先	政策経営部 企画政策課公共施設再編担当課長 田中	電話	724-2103
	経済観光部 産業政策課長 村上		724-2129

件名	公共施設等維持保全事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
2,248,422			235,296	81,839	909,000	547,361

【事業の背景・目的】

市の公共施設は、その半数以上が築30年以上で大規模改修が必要な時期を迎えており、老朽化した施設の安全性確保と、快適な使用のための維持保全が必要となっています。

また、2018年度に策定した町田市公共施設再編計画では、既存施設をすべて維持した場合に2018年度から2055年度までにかかる市有建築物の維持管理費用は1年間で約89億円と試算しており、財政負担の増加が予想されます。

このため、公共施設再編により施設総量を圧縮するとともに、維持する建物については建築年数や劣化状況をふまえ計画的に改修を行い、施設の安全性確保や、財政負担の軽減・平準化を図ります。

【主な事業の内容】

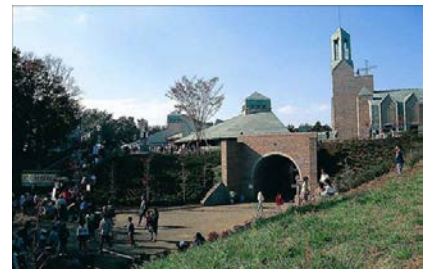
1 市有建築物全般

＜子ども創造キャンパスひなた村(1993年築)＞（工事2年目）

老朽化が進んでいる電気設備、空気調和設備、給排水衛生設備、舞台機構等を改修します。工事期間中、野外での体験事業などは実施しますが、施設の貸出は一時的に休止する予定です。

工事予定期間 2022年12月～2024年2月
 休止予定期間 (ホール) 2023年4月～2024年3月
 (本館) 2023年4月～2023年9月

【事業費】 改修工事費 319,745千円
 工事監理委託料 28,131千円
 (2022～2023年度債務負担行為事業 総事業費 561,038千円)
 【特定財源】 児童福祉施設整備事業債 260,000千円



＜ひなた村＞

＜堺市民センター(1983年築)＞

老朽化が進んでいる屋上防水、外壁、電気設備、給排水衛生設備、舞台機構等を改修するための実施設計を行います。なお、実施設計に伴う休館はありません。

設計予定期間 2023年6月～2024年2月

【事業費】 実施設計委託料 25,982千円
 【主な特定財源】 地域センター整備事業債 19,000千円



＜堺市民センター＞

問合せ先	財務部 営繕課長 原田	電話	724-1293
------	-------------	----	----------

2 学校施設

〈校舎等の改修〉

建築後 30 年以上経過し、老朽化している校舎等の長寿命化を図るため、外壁、屋上防水、その他付帯設備の改修等を行います。2023 年度は三輪小学校・相原小学校の外壁及び屋上防水改修等の実施設計及び工事、成瀬中央小学校・鶴川第二中学校の屋上防水工事、2024 年度以降に施工する町田第一中学校(体育館・プール棟)・鶴川中学校の空調設備やプール設備改修等の実施設計を行います。

【事業費】	整備工事費	150,101 千円
(2023～2024 年度債務負担行為事業	総事業費 149,446 千円	相原小学校改修)
(2023～2024 年度債務負担行為事業	総事業費 141,240 千円	三輪小学校改修)
(2023～2024 年度債務負担行為事業	総事業費 49,995 千円	成瀬中央小学校屋上防水)
(2023～2024 年度債務負担行為事業	総事業費 49,995 千円	鶴川第二中学校屋上防水)
	実施設計委託料	104,482 千円
【主な特定財源】	学校施設環境改善交付金(国 1/3)	13,006 千円
	学校施設整備事業債	174,000 千円

問合せ先	学校教育部 施設課長 平川	電話	724-2174
------	---------------	----	----------

3 市営住宅

忠生市営住宅(3号棟)の外壁改修工事等を行います。

【事業費】	施設等管理委託料	103,100 千円
【主な特定財源】	防災・安全交付金(国 4.5/10)	33,700 千円

問合せ先	都市づくり部 住宅課長 村田	電話	724-4269
------	----------------	----	----------

4 公園施設

公園施設の安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、公園施設長寿命化対策工事を行います。現行の公園施設長寿命化計画が 2023 年度に策定期間の最終年度を迎えるため、次期計画を策定します。

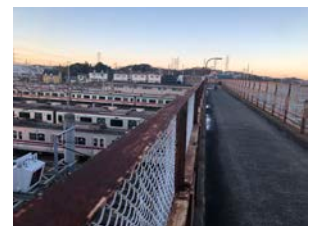
【主な事業費】	公園施設長寿命化計画策定委託料	54,802 千円
	公園施設長寿命化対策工事	50,000 千円
【主な特定財源】	社会資本整備総合交付金(国 1/2)	36,000 千円
	都市計画事業債	27,000 千円

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 新	電話	724-4397
------	-----------------	----	----------

5 道路・橋梁

安全で快適に通行できるよう、道路の舗装補修工事等を行います。老朽化した橋梁やペDESTリアンデッキの点検や補修工事を計画的に行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な事業費】	工事負担金(長津田車庫跨線人道橋)	227,810 千円
	補修工事費(ペDESTリアン 1号デッキ)	144,000 千円
	補修工事費(舗装補修工事費)	84,000 千円
【主な特定財源】	道路メンテナンス事業費補助金(国 5.5/10)	152,090 千円
	道路橋梁費補助金(都 3/10、2.25/10)	81,839 千円



<長津田車庫跨線人道橋>

問合せ先	道路部 道路維持課長 林田	電話	724-1121
------	---------------	----	----------

◇ 歳入

2023年度 一般会計歳入予算内訳表

(単位：千円・%)

款	2023年度		2022年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1. 市 税	70,711,640	42.0	68,471,747	36.6	2,239,893	3.3
2. 地 方 譲 与 税	746,001	0.4	785,001	0.4	△ 39,000	△ 5.0
3. 利 子 割 交 付 金	115,000	0.1	80,000	0.0	35,000	43.8
4. 配 当 割 交 付 金	594,000	0.4	553,000	0.3	41,000	7.4
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	517,000	0.3	567,000	0.3	△ 50,000	△ 8.8
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	1,365,000	0.8	970,000	0.3	395,000	40.7
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	9,893,000	5.9	8,627,000	5.0	1,266,000	14.7
8. ゴルフ場利用税交付金	40,000	0.0	39,000	0.0	1,000	2.6
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	213,000	0.1	194,000	0.1	19,000	9.8
10. 地 方 特 例 交 付 金	487,000	0.3	487,000	1.2	0	0.0
11. 地 方 交 付 税	2,445,000	1.5	1,753,000	1.0	692,000	39.5
12. 交通安全対策特別交付金	48,000	0.0	48,000	0.0	0	0.0
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	703,741	0.4	717,567	0.4	△ 13,826	△ 1.9
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	3,645,409	2.2	3,569,945	2.0	75,464	2.1
15. 国 庫 支 出 金	32,870,185	19.5	34,904,411	19.6	△ 2,034,226	△ 5.8
16. 都 支 出 金	25,141,463	14.9	23,850,025	13.7	1,291,438	5.4
17. 財 産 収 入	1,765,002	1.0	1,744,509	1.0	20,493	1.2
18. 寄 附 金	227,226	0.1	184,393	0.1	42,833	23.2
19. 繰 入 金	5,664,594	3.4	5,040,710	2.8	623,884	12.4
20. 繰 越 金	1,000,000	0.6	1,000,000	0.6	0	0.0
21. 諸 収 入	3,060,220	1.8	1,913,088	1.0	1,147,132	60.0
22. 市 債	7,174,000	4.3	6,764,000	13.6	410,000	6.1
歳 入 合 計	168,426,481	100.0	162,263,396	100.0	6,163,085	3.8

◇ 歳出

2023年度 一般会計歳出予算目的別内訳表

(単位:千円・%)

款	2023年度 予算額 (構成比)	2022年度 予算額 (構成比)	増減額 (増減率)	2023年度予算額の財源内訳				一般財源 (構成比)
				特 定 財 源				
				国庫支出金	都支出金	地方債	その他	
1. 議会費	652,524 (0.4%)	641,801 (0.4%)	10,723 (1.7%)	258	129	—	—	652,137 (0.7%)
2. 総務費	17,871,095 (10.7%)	17,764,891 (11.0%)	106,204 (0.6%)	628,414	1,198,619	651,000	980,284	14,412,778 (15.5%)
3. 民生費	89,047,736 (52.9%)	85,994,285 (53.0%)	3,053,451 (3.6%)	30,531,971	18,521,521	90,000	2,290,403	37,613,841 (40.4%)
4. 衛生費	15,566,474 (9.2%)	15,080,297 (9.3%)	486,177 (3.2%)	958,413	1,038,621	1,310,000	3,532,571	8,726,869 (9.4%)
5. 労働費	37,810 (0.0%)	50,659 (0.0%)	△12,849 (△25.4%)	—	—	—	—	37,810 (0.1%)
6. 農林費	348,473 (0.2%)	317,507 (0.2%)	30,966 (9.8%)	—	53,188	—	2,988	292,297 (0.3%)
7. 商工費	1,179,730 (0.7%)	2,268,939 (1.4%)	△1,089,209 (△48.0%)	12,300	53,055	29,000	178,912	906,463 (1.0%)
8. 土木費	15,722,196 (9.3%)	14,466,337 (8.9%)	1,255,859 (8.7%)	616,846	1,649,961	2,697,000	1,989,302	8,769,087 (9.4%)
9. 消防費	4,909,618 (2.9%)	5,014,866 (3.1%)	△105,248 (△2.1%)	—	1,684,500	205,000	980	3,019,138 (3.2%)
10 教育費	15,223,936 (9.0%)	13,346,015 (8.2%)	1,877,921 (14.1%)	121,983	937,890	1,163,000	2,232,917	10,768,146 (11.6%)
11 災害復旧費	6 (0.0%)	6 (0.0%)	0 (0.0%)	—	—	—	—	6 (0.0%)
12 公債費	7,766,883 (4.6%)	7,217,793 (4.4%)	549,090 (7.6%)	—	—	—	—	7,766,883 (8.3%)
13 予備費	100,000 (0.1%)	100,000 (0.1%)	0 (0.0%)	—	—	—	—	100,000 (0.1%)
歳出合計	168,426,481 (100.0%)	162,263,396 (100.0%)	6,163,085 (3.8%)	32,870,185	25,137,484	6,145,000	11,208,357	93,065,455 (100.0%)